

国際会長テーマ 「希望の光」

シド L. スクラッグス三世



今月の特集

公式訪問

第23回国際平和ポスターコンテスト

2010年度夏期YCEレポート

ガバナーテーマ

あす
「未来を照らす改革への道」

アクティビティスローガン

「絆とともに価値ある奉仕」

時計・宝石・貴金属・ブランド品



・質受け ・買い取り ・委託販売



質 舗 ・ 蔵

☎(0749)
26-2106

〒522-0063

滋賀県彦根市中央町3-12
CGビル1階（ローソン前）
TEL. (0749) 26-2106
FAX. (0749) 30-0336



〒063-0826

札幌市西区発寒六条11丁目1-7
TEL. (011) 666-2102
FAX. (011) 666-6216



L 脇坂 正人（彦根 LC）

株式会社 たづアート
画廊 たづ

日本画・洋画・一般美術品
常設並買入
各種オークション取次

〒605-0037 京都市東山区三条通神宮道西入西町138-1
たづアートプラザ1F

TEL(075)771-8225(代) FAX(075)771-1004
営業時間 AM10:00～PM6:00 日・祝日定休
HP：<http://www13.plala.or.jp/tazuart/>

L 森井 士朗（京都洛東 LC）



第1回キャビネット会議 開催

◆日時 2010年8月3日 15:00~17:00 ◆場所 リーガロイヤルホテル京都



ガバナー帰朝報告会終了後、15時より地区キャビネット幹事 植田隆夫の司会により2010(2011年度)第1回キャビネット会議が開催された。奥村啓二地区ガバナーによる開会のゴングが点鐘された後、定足数の確認、出席者の紹介がされ地区ガバナーの挨拶が述べられた。名誉顧問会議長・前地区ガバナー佐藤義彦の挨拶があり、続いて、佐藤義彦前地区ガバナーを始めとして前地区キャビネット役員及びホストクラブ京都LCに感謝状の贈呈が行われた。



又、今回は特別に6月9日に行われたクラブ三役研修会 講師3名に感謝の意が表された。報告事項として、キャビネット予備会議議事録・国際大会・アジアフォーラム開催の予定・地区内組織表一部変更・クラブ三役一覧表一部変更・公式訪問に関して・周年行事予定・第1回335複合地区ガバナー協議会、等々。又、その他の項では、今期ガバナーズアワードについてクラブに対して総合賞・地区委員会に対して部門賞・秀でたゾーン・チェアパーソンに対して優秀ゾーン・チェアパーソン賞を考えているとの報告あり。

地区キャビネット運営委員長 門奈 邦治



「やる気」のガバナー帰朝報告会

◆日時 2010年8月3日 13:30~14:30 ◆場所 リーガロイヤルホテル京都



酷暑の中、2010(2011年度)国際協会長の指針及び国際協会のプログラムを地区役員・地区内全クラブ会長の皆様に伝える目的のガバナー帰朝報告会が8月3日午後1時30分よりリーガロイヤルホテル京都に於て開催された。



PR・情報委員会とIT委員会の合同で作成されたスライドによりシドニー・コンベンション&エキシビションセンターで行われたガバナーエレクト研修セミナー・開会式・インスターナショナルパレード・ソフィテルウェントワースホテルでのガバナー晩餐会の様子等の報告があった。

特に国際会長シドL・スクラッグス三世のテーマ「希望の光」については、奉仕に光を、PRに光を、会員に光を、青少年に光を、指導力育成に光を、チャリティに光を、の6つのパターンについて奉仕を照らす光が必要であると詳しく説明され、又、国際会長テーマに準じガバナーテーマを「未来を照らす改革への道」とした、と話された。

最後にガバナー方針である「会員増強」に早くから取り組み7月中に5名以上の会員増強を達成された京都錦、京都うずら野、京都淀、彦根みずほライオンズクラブ、各4クラブに対して特別にガバナーよりガバナーズアワードとして会員増強特別賞の贈呈が行われ、労がねぎらわれた。

閉会の挨拶が第2副地区ガバナー南清右衛門より述べられ帰朝報告会は終了しました。

地区キャビネット運営委員長 門奈 邦治





ライオンズクラブ国際協会335-C地区

京都府知事表敬訪問

8月6日(金) 京都府知事表敬訪問

1時丁度に山田啓二知事が知事応接室にお見えになり、今年度地区ガバナー奥村啓二よりガバナーに就任した旨の挨拶があり、知事よりお祝いの言葉をいただき和やかな懇談会で始まりました。特にガバナーは知事とは旧知の仲のように親しくお話しをされ、今年度335-C地区のガバナーとして新たなアクティビティがあれば前向きに取り組んでいきたい旨のお願いをされ、知事よりは常日頃ライオンズの皆様のご支援に対する感謝の意が伝えられた。

又、話の中でライオンズメンバーの減少の話になり、知事も大変驚かれ今後もライオンズクラブがますます発展するよう努力して頂きたいとの励ましの言葉を頂き、約30分にわたる表敬訪問を無事終えました。
(京都府知事訪問には城陽LC、L奥田敏晴のご協力を頂きました。)

京都市長表敬訪問

8月30日(月) 京都市長表敬訪問

残暑厳しい中、地区ガバナー奥村啓二、幹事、会計、年次大会委員長が8月30日午前中、門川大作京都市長を表敬訪問された。

市長は昨日外遊から帰国にもかかわらず、元気で応接室においてになりガバナー奥村啓二より今年度就任のご挨拶があり、市長よりお祝いの言葉がのべられ、常々のライオンズクラブへの協力の感謝の意が伝えられた。

又、ガバナーよりライオンズクラブの現況についてお話しになり、途中綱引き大会のアクティビティの話となり、大変盛り上がり意義のあるあたたかい表敬訪問でした。最後に年次大会への出席のお願いをして、無事表敬訪問を終えました。



ライオンズクエストプログラムセミナー開催

7月26日(月) 13:30よりリーガロイヤルホテルにて、奥村地区ガバナー、名誉顧問・元協議会議長・335複合地区ライオンズクエスト八畷委員長を始め、地区役員、各クラブ会長、クラブメンバー141名出席のもと、ライオンズクエストプログラムセミナーを開催いたしました。



奥村地区ガバナーより、地区会員は前期末4,025名、16年前7,300名から、毎年200名のドロップをしている、会員増強なくして335-C地区の存在があらゆる改革と、強力に会員増強に取り組んでいく、既にクラブ初例会で5名以上の新入会員の入会を果たされたクラブが4クラブあり、8月第一例会までに116名の入会予約を頂いている状況にて心強いが、更なる会員増強にご

精励をお願いしたい。

青少年育成事業の金銭的よりの詳細な説明があり、少なくないお金がかかっている。青少年は少子化の中、環境は悪くなってきている、青少年育成の一環としてライオンズクエストを勧めていきたい、皆様にご支援をお願いしたいと挨拶をされました。

引き続き、複合地区ライオンズクエスト八畷委員長より、335複合地区は全国8複合の中で、ライオンズクエストワークショップ実施実績はダントツのトップであり、335-C地区は全国の準地区の中でもトップである、ライオンズクエストワークショップは公募型よりも校内型のワークショップ実施により、よりプログラムの浸透が進む。日本で初めて国立京都教育大学にライオンズクエストプログラムワークショップを導入していただくことになった。

ライオンズクエストに、各クラブのご支援、ご協力をお願いしたいと、情熱一杯に説明と



奈良県知事表敬訪問

9月6日 荒井奈良県知事表敬訪問
まだ残暑も厳しい日でありましたが、奥村ガバナーを初めキャビネット

幹事、会計、そして奈良桜井L.C.会長を初めメンバーの皆様のお世話により県庁の知事室に於いて表敬訪問する。すでに知事は執務室におられ私共がお訪ねすると、快くお迎え頂き、日頃のライオンズクラブ活動に対して御礼を承り、又、奥村ガバナーよりバナー、バッジが記念として手渡され、今年度ガバナー就任のごあいさつがなされた。少し奈良県の現況を話され、とくに今年度は遷都1300年

という節目の年であり何かと業事があり大変であるとのこと。ガバナーより私共、ライオンズクラブも何か奉仕が出来ることがあれば、大いに参加をさせて頂きたい旨のお話をされ、約20分にわたる表敬訪問を終えました。



滋賀県知事表敬訪問

10月5日 嘉田滋賀県知事表敬訪問
午後、県庁の応接室に於いて嘉田滋賀県知事を表敬訪問
奥村ガバナーを初め、第二副地区ガバナー、キャビネット、幹事、会計、年次大会委員長にて訪問する。

奥村ガバナーより知事へバナー、バッジが記念として渡され今年度ガバナー就任のごあいさつをされた。又、嘉田知事より日頃のライオンズクラブの協力への感謝の意が伝えられ、今後ますますのご活躍をとの激励の言葉を頂き、ガバナーよりライオンズクラブの現況と二年後には滋賀県より

ガバナーが誕生する旨伝えられ又、年次大会委員長L金井より、年次大会出席へのお願いをされた。

地区PR・情報委員長

森井 士朗



挨拶をされました。
特定非営利法人青少年育成支援フォーラム田川薫講師より、「思春期のライフスキル教育」プログラムの説明があり、ライフスキルの体験に入る。
①ライオンズクエストの生い立ち②特定非営利法人青少年育成支援フォーラムの説明③35準地区の内27地区でLCIF交付金を取得してクエスト普及事業実施を各パワーポイントで説明。
模擬授業の体験会に入り、「上手に聞く方法を学ぼう」で植田キャビネット幹事さんがパネラーになって

頂き、田川講師とのやり取りに対して、参加者より活発な発言、意見が出ました。

二人一組になり、お互いに会話をを行い、会話の聞き方について、チェック項目を振り返るを行いました。

短時間ではありましたが、和気藹々の内に、聞き上手の体験会は終わりましたが、ライオンズクエストプログラムワークショップのほんの一部の体験をして頂いただけですが、少しでも、ライオンズクエストプログラムについてご理解の一助にしていただけだと思っております。今年度はワークショップを地区で10回開催を計画しています、各クラブのご支援、ご協力をお願い申し上げます。





* 京都府立東宇治高等学校でライオンズクエスト体験会開催 *

8月24日(火) 13:30より東宇治高等学校図書室で橋本校長を始め、33名の先生の参加のもと開催する。

青少年育成支援フォーラムの田川講師のライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムについて、生い立ち、内容、経過、状況の説明、ライオンズクエストの目指すところは子どもたちの自信を高める事と説明の後、参加の先生方に「どんな時に自信をなくすか」「どんな時に自信を感じるか」を討議、発表していただき、模擬授業に入る、プログラムの二環、エナジャイザーを使い班分け行い、単元3「心の成長と感情のコントロール——私の心のメッセージ」の模擬授業を体験として行なって頂いた所、身内とのこともあり、リラックスの中、和気藹々に取り組み、各グループでの発表では笑い声の渦になり、通常とは違った先生方の一面がかいみられたとの校長先生のお話もありました。

2日間のワークショップを受講していただいた先生が2名おられるため、2名の先生の指導の下、ライオンズクエストプログラムの部分的に導入を学校に取り入れて頂ける。

* 草津市立南笠東小学校校内型ワークショップ開催 *

今期335-C地区で10回計画しているライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」プログラムワークショップの中で、唯一の校内型(単一学校)ワークショップを6R2Zの草津ライオンズクラブ単独スポンサーのもと、8月27日~28日の2日間、草津市立南笠東小学校で開催いたしました。

8時30分より開講との事もあり、早朝よりスポンサー頂きました草津ライオンズクラブの山川会長を始めメンバーのお手伝いを賜り、南笠東小学校の富田清司教頭以下26名の先生方と、2名の京都橋大学の教育実習生の計29名でワークショップが行われました。

校内型との事より、通常の公募型と違い、緊張感は少し薄れますが、和気藹々の和やかな雰囲気の中、賑やかなコミュニケーション、絶えず聞こえる笑い声とリラックスしたワークショップになりましたが、1日目、昼よりのプログラムより少し真剣な目になり、役割分担をこなすべく熱心に取り組まれる姿勢になりました。

26日17時45分より、BBC TV(琵琶湖テレビ)のニュースの時間に南笠東小学校でのワークショップに取り組んでおられる先生方の写真を背景に30秒間流れました。

2日目の最後に29名の先生方に感想を一語と述べていただき、参加して良かった、2学期に一部でも子ども達に取り入れたい、自分を見つめなおす良い機会になった、学級経営に生かして行きたい等の話を頂、ワークショップを受講していただき良かった、ワークショップを開催してよかったの思いを一段と感じたワークショップになりました。

草津ライオンズクラブの山川会長始めメンバーの皆様、ご支援、ご協力ありがとうございました。





2010年度夏期 YCE 来日レポート

2010
7



亀岡、京都、宇治、大阪と多くの地域に行きました。最初はとても不安でしたが、人々や街を愛することを学びました。日本は素晴らしい国です。日本で決断できなかった経験をし、いろいろなことを学びました。私は日本を愛します。かなうなら近い将来に、再び日本を訪れ滞在中にできた素晴らしい友人と再会し、また経験したい興味あることを体験したいと思います。ありがとうございます。



最初のホストファミリーは、亀岡の山本さんです。2週間の滞在中、家族同様に扱って頂き、最初のホストファミリーだったのが、日本の習慣の多くを学ぶことができました。山本さんの家族はとても素敵な家族でした。一緒に作った思い出と優しさは忘れることはないでしょう。

2 番目のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。

3 番目のホストファミリーは、宇治の久保田さんです。4日間ほどの滞在でしたがいろいろな経験をさせていただき、とても素敵な家族でした。一緒に過ごした経験は忘れることはないでしょう。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。



クリストファー・カバルス (カナダ)
Christopher CABALCE
第一ホストファミリー 京都北 LC: 山田様
第二ホストファミリー 京都南 LC: 北村様 & 武内様

「こんにちは。私の名前はクリストファー・カバルスです。」 (日本語)

私は18歳で、カナダのアルバータ州カルガリーから来ました。私の家族はフィリピン系で、両親と兄の4人家族です。私はこの6月に高校を卒業したばかりです。9月に大学へ入り、経営を専攻するつもりです。

私が日本に来たかったのは、文化と地理に大変興味があり、カナダや西洋の習慣と比較してどんな風に違うのか知りたかったからです。人生の中でも特別な経験になると思えました。もちろん、北米から来た者としては、理想の日本への旅といえば東京へ行き、映画の「ワイルド・スピード X3・トーキョードリフト」みたいな体験をすることでしたが、私は28日間を日本文化を学ぶのにはぴったりの歴史の宝庫、京都で過しました。

私は7月14日に大阪関西空港に着陸すると同時に、何て湿気が多いのかと、打ちのめされる思いでした。空港の中でさえも、実にじめじめしてあまりに暑いので当惑しました。

私は最初のホストファミリーの山田さんに出迎えて頂きました。彼らは大変暖かく、親しみやすく、私の日本の旅の始まりが素晴らしいものになるように歓迎して下さいました。

彼らは今宮神社の近くに住んでおられたので、私の日本観光の第一歩は今宮神社でした。日本へ来る前に日本の文化について調べており、日本の人口の大多数が仏教徒であると知っていたので、国中はもちろん市内にもたくさん寺院や神社があることは驚きませんでした。山田さんのお宅に滞在中に、私は、金閣寺、祇園祭、三十三間堂、大徳寺、六角堂などへ行くことが出来ました。それらの神社やお寺へ連れて行ってもらい、お寺の数が多いだけでなく、仏教を信じる人々の神聖さに驚きました。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。



翌日、ライオンズのイベントで第二次世界大戦の際に原爆が落とされた広島へ行きました。それは、私が今まで遭遇した中で最も心動かされる体験でした。この歴史的な事件が実際に起こった、まさにその場所に立つことは本当に印象深かったです。疑いなく広島は私の日本の思い出の中で特別な場所となりました。

武内さんは私の3番目の、最後のホストファミリーでした。武内さんの家族との最初のイベントは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ息子さんと、娘さんと一緒に行ったことです。その日は本当に暑かったけれど、私はすべての乗り物やアトラクションを思う存分楽しみました。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。

最初のホストファミリーは、京都の北村さんです。山本さん同様素敵な家族でした。北村さんのレストランは、美しい川の素晴らしい眺めと町並み、そしてそこに集う人々は素晴らしいものでした。この幻想的なレストランは京都では最高の一つだと思います。家族の皆さんは尊敬の念を以て接していただき、とても快適な時を過ごせました。皆さんのおもてなしは、決して忘れないでしょう。



ライオンズクラブ国際協会335-C地区



納涼花火大会の開催
人部・家族参加

私は3組のホストファミリーから確かに多くの事を教わりました。私を家に泊めて下さったことをはじめ、日本滞在中に私のために下さった全ての事に感謝申し上げます。私は彼らが私に示してくれた暖かいおもてなしを決して忘れません。

私を日本に來させて頂き、皆さんが住むすばらしい国を満喫させてくれた全ての日本のライオンズクラブに御礼申し上げます。私はホストファミリーの皆さんと可能な限りコンタクトを保って、またすぐに日本へ戻って来たいと思っています。

“ありがとう”(日本語)



琵琶湖でバーベキューをしたことも楽しかったです。天候が良くなって泳いだり出来なかったのは残念でしたが。ああ、でも食べ物おいしかった!

保津川下りや亀岡の花火大会も同じく楽しかったです。

太秦映画村はまた別の楽しさがありました。日本映画やテレビ番組を作るスタジオを見学出来ました。私が子どもの頃に大好きだったパワーレンジャーもありました。

フットサルをはじめてやったのはすごく疲れたけれど、楽しかったです。その場所からは京都市が一望出来ました!

全てを通して日本は、控えめに言っても偉大な体験でした。私は日本で生活した28日間にたくさんを学びました。私の記憶に残る一番の事は、日本には尊敬することが沢山あり、人々がどんなに親しみやすいか、ということ。日本人は尊敬すべき市民、地球人の歩く標本です。私は日本人の親切さを敬愛しますし、これが、世界の人々が取ってゆくべき行動のお手本だと思います。こんな風に私達が変わることが、世界平和のようなゴールを成し遂げる方法だと思います。

細い小路で車を運転する時、私はまた別のことに気がきました。私は交通事故を大変恐れていましたが、日本人のドライバーはとても安全かつ有能で、衝突に巻き込まれたりしません。

日本はとても美しい国で、地形も建造物も驚くべきものです。500年も前の昔に人々は立派な建物を造った上に、現在もまだそれを保存し、自然災害の恐怖から守り続けているのはとても心打たれることです。

YE生として日本に來られたことは大変大きなことでした。私は3組のホストファミリーから確かに多くの事を教わりました。私を家に泊めて下さったことをはじめ、日本滞在中に私のために下さった全ての事に感謝申し上げます。私は彼らが私に示してくれた暖かいおもてなしを決して忘れません。

私を日本に來させて頂き、皆さんが住むすばらしい国を満喫させてくれた全ての日本のライオンズクラブに御礼申し上げます。私はホストファミリーの皆さんと可能な限りコンタクトを保って、またすぐに日本へ戻って来たいと思っています。

“ありがとう”(日本語)

日本での生活
マイヤ・アンペラ (フィンランド)
Maija LAMPOLA

第一ホストファミリー 大津比叡LC:小川様
第二ホストファミリー 大津比叡LC:今藤様

私は、日本での4週間の長期滞在で2つのホストファミリーと過ごしました。

1週間目は、家族で互いのことを知りました。2週間目からはよりリラックスして、自然にできました。本物の家族と同じようになれ、その後私はこのステイをとても楽しむ事が出来ました。

ホストファミリーの方に、たくさん場所に連れてってもらい、私は家族や友人のお土産を探しました、又たくさん写真を撮ることもできとても楽しかったです。動物園や、街並み、山の頂上などを撮ることが出来ました。

ホストファミリー宅では、一緒にゲームをしたり、私が日本の事について質問したり、フィンランドについて説明したり話す事も楽しかったです。

今回日本に来て、日本の人達はとても私にやさしく親切で、帰国するのが本当に寂しく思いました。

最後に、今回お世話になった小川ファミリー、今藤ファミリー感謝致します。

素晴らしい時間と沢山の思い出をありがとうございました。



私は、日本での4週間の長期滞在で2つのホストファミリーと過ごしました。

1週間目は、家族で互いのことを知りました。2週間目からはよりリラックスして、自然にできました。本物の家族と同じようになれ、その後私はこのステイをとても楽しむ事が出来ました。

イ・ティン・チェン・クリスティ (台湾)
Yi-Ting CHENG Christy

第一ホストファミリー 愛知LC:伊谷様
第二ホストファミリー 京都桃山LC:山内様&森本様

森本家では同じ年の女子大生と小・中高、四人と家族をまじえて八人で迎えてもらいました。

早速、七月三十一日の昼ごはん歓迎パーティのようでした。滞在中、外食は二回ほどで家庭の手料理を八人みんなでいただきました。古都京都の一家庭の家族の暮らしぶりを目の当りにして京都の一市民の起臥を勉強することができました。

食材は、色どりよく豊富な品揃いでしたが、全体的につつましやかでありました。

今回の京都滞在は、神社仏閣など大きな京都と身近な京都のくらしぶりを体験できまして、充実の京都ホームステイでした。



2010年度夏期 YCE 派遣レポート

ニュージーランドへ行って

この度はライオンズクラブという機関を通して、ニュージーランドに行くことができ、本当にありがとうございます。たくさんの方の協力に感謝の気持ちでいっぱいです。

ニュージーランドでは2つの家庭にステイすることになりました。第一ステイは9日間お世話になりました。他の派遣学生と共に毎日、充実したアクティビティを楽しむことができました。現地の人はとても気さくで、あたたかい人ばかりでした。羊の毛刈りや、牧場、ワイナリーなど、どれも私にとって、初めての体験でした。

第二ステイからは、派遣学生とも別々になり、各家庭で過ごしました。私はファームでした。始めは牛や羊に対して恐怖感もありましたが、日に日に愛しく思うようになりました。日本のことをとてもよく知っておられるお家だったので、文化についてたくさん話しました。

これらの活動を通して、私が感じたことは世界というものは本当に広大だと思えました。それぞれの価値感や国柄を大切にしています。しかし、人として人類としての根源的なところではつながっているんだと感じました。



派遣先：ニュージーランド
京都東LC 森本 彩花

夏期YCE派遣オーストラリアレポート



ブリスベン合宿にて
ステイメイト

今回、私はオーストラリアのブリスベンの南西に位置するNSWのMurwillumbahでホームステイをしました。Murwillumbahは自然が多く、動物も多い環境で、過ごしやすい場所でした。ステイ先の庭には、たくさん動物が飼われており、日本ではあまり見られないアルパカが飼われており、オーストラリアならではの事でした。ホストファミリーは、とてもフレンドリーで優しく接してくれ、遠く離れた地でも寂しさを感じる事もなく、人間味の温かさを感じられました。また、ほぼ毎日色々な所に連れて行ってもらう沢山の人や動物、自然に出会い、広大で緑でいっぱいの公園で過ごしたピクニックは今でも目に浮かびます。ホストファミリーは面白く、毎日ユーモアのある事を言って楽しませてくれました。ホストファミリーは頭が良く手が器用で、手製のコアラの刺繍の飾り物を貰いました。また、観光名所のゴールドコーストの海は、青く澄んでおり、大変感動しました。動物園では、カンガルーやコアラと触れ合うことが出来、異国の動物と触れ合う貴重な体験ができました。地元のフェスティバルでは、地元の子供たちがドレスアップして、それを見て和やかな気持ちになりました。どの国でも祭を大切にしているのだと感じました。日本の文化とオーストラリアの文化の違いはありますが、お互いがお互いを理解し合おうとする気持ちがあれば異文化コミュニケーションを図る事ができるのだと思えました。

派遣先：オーストラリア
近江守山LC 森本 啓文



ブリスベン合宿

日本からの派遣生全員(16名)、マイケル(オーストラリアのライオンズ)、子供



ステイ中、ホストファミリーとマザーピクニックにて

今回、この様な貴重な体験をさせて頂いたライオンズクラブの皆様には感謝いたします。本当にありがとうございました。



2010年度夏期 YCE 来日学生歓迎会

◆日 時 2010年7月29日(木) ◆場 所 リーガロイヤルホテル京都



7月29日 17時より アメリカ カナダ フィンランド 台湾から4名の学生を迎えて、2010年度夏期YCE来日学生の歓迎会が開催されました。

奥村地区ガバナー 足達第1副地区ガバナー 南第2副地区ガバナー 植田地区キャビネット幹事をはじめ、ホストファミリーならびにホストクラブの皆様にも多数ご参加頂き、楽しい時を過ごす事が出来ました。

まず はじめに、奥村地区ガバナーよりご自身の来日学生を数十名受け入れられた御経験をお話し頂き、写真をまじえ当時の来日学生と交流している との話を聞かせて頂き、異国の文化を楽しんで頂き大きく成長し、自国に帰って下さいと挨拶されました。

川勝地区YCE委員長より、ホストファミリー・ホストクラブにお礼を述べられ1ヶ月弱の来日を有意義にと来日学生にエールを送り 挨拶されました。

足達第1地区ガバナーの御発声で乾杯を行い楽しい会食に移りまして、そして、来日学生4名のスピーチに移り ホストファミリーに感謝と日本と云う国を理解しようという意気込みが感じられました。

最後に南第2副地区ガバナーが閉会の挨拶を述べて歓迎会を閉会致しました。

地区YCE副委員長 L木下 昌平



1R~4R 明日の青少年を考える会

7月28日(水) 14:30より、キャンパスプラザ京都に於いて、「1R~4R明日の青少年を考える会」が開催されました。

ご来賓として、京都府健康福祉部薬務課 川原崎 功様、同薬務課主査 中川 拓也様をお招きし、当地区からは地区ガバナーL奥村 啓二をはじめ地区役員19名、各クラブから38名が参加し、またゲストとして335-Cレオ地区会長Leo河津 圭一が出席し、開催されました。

地区レオ・青少年指導委員長L大石 博之の今年度の活動方針・内容・目標の説明と協力依頼があり、意見交換をする中で問題点を見つけ解決方法を見出した旨の挨拶がありました。

挨拶として、地区ガバナーL奥村 啓二は、今年度国際会長 シドLスクラッグスIII世のテーマ「希望の光」の中で6つの光の中の一つに「青少年に光を与えよう」のテーマの礎、次世代を担う青少年に力添えを、またキャビネット事業の中で772万円あまりの費用をいただいております、YCE委員会、レオ・青少年指導委員会、ライオンズクエスト委員会にて有効に費やしていきたい、クラブメンバーとレオクラブ会員増強に邁進していきたいとの決意を述べられました。

続いて、335複合地区レオ・ライオネス委員長L佐藤 義彦より挨拶があり、将来の日本世界に背負っていく青少年をどのように育成していくのか?大きなテーマであり、レオクラブ会員、クラブメンバーの減少共々、毎年毎年の課題であるが解決に向けて検討をお願いしたい。

①レオ指導・育成について 地区レオ・青少年指導委員長L大石 博之から説明が行われました。

今期活動・内容・目標として、レオクラブ減少の原因を究明しその対策を講じる。その問題としてクラブの拠出金がどのように使われているのか?レオクラブの活動はどのようなものか?を検証し、クラブ内の連携の下でレオクラブ会員の紹介とどのような協力が可能なのかをクラブメンバーが関心をもっていただきたい。その提案がなされました。

②薬物乱用防止について 京都府健康福祉部薬務課長 川原崎 功様

A 薬物乱用とは

・医薬品等を一定の限度を超えて使うこと。

・精神機能に影響する薬物を正規の目的外に使用すること。

B 覚せい剤乱用の特徴

・乱用の低年齢化↓中学生・高校生・大学生の間で乱用

・供給源の多様化↓外国人密売人の登場等

・密売場所、密売方法の変化↓インターネットや携帯電話による移動密売型へ

C 京都府の対策

・インターネット監視、販売店舗の立入強化

・ホームページの作成

・業界団体との連携、情報提供を依頼

D 京都府の取組み

- ・ 5/15/6/30 不正大麻、ケシ撲滅運動
 - ・ 6/15/7/31 薬物乱用防止広報強化運動
 - ・ 6/20/7/19 「ダメ・ゼッタイ」普及運動
 - ・ 6/26 ヤング街頭キャンペーン（葉科大学・大学生の参加）
 - ・ 10/15/11/30 京都府麻薬・覚せい剤乱用防止運動京都大会
 - ・ 薬物乱用防止指導員協議会を通して区民祭り等における啓発
 - ・ 薬物乱用防止府民ミーティング（出前語り等による出講）
- 以上の啓発活動を展開し、正しい知識と薬物乱用防止に努めたいと強く訴えられました。

③レオ地区について レオ地区会長 Le.o 河津 圭一

今期のレオ地区会長スローガンは、「レオ一致団結」を掲げ、社会人のメンバーが多く日程や人数を調整しながらアクティビティを行いたい。また335-Cレオ地区には、学園レオクラブを含め13クラブがありますが、実働メンバー（204名）に限りがあり、これを打破すべく地区・ブラザーレオクラブと協力して盛り上げていきたい。また学園レオクラブとの関わりを太くし、メンバー増強に地区としても卒業していく学園レオクラブメンバーを一人でも多く入会していただく準備をしているので、各クラブ会員増強に絶大なる協力をお願いしたい。要望がありました。

活動内容

- ・ スポーツ大会（10/17）
- ・ 献血活動（11/28）
- ・ レオクラブ大会（5/15）
- ・ マンスリーレポートの提出等がありました。

その後意見交換

A 「レオクラブの今後について」会員増強についての意見交換、相談にて。
 ・ 京都両洋高等学校にOB会の立ち上げをし、一般レオクラブへの移行を考えている。

- ・ ライオンズクエスト委員会と組織を同一して活動できないか？
- ・ 各レオクラブの活動及び特徴をPRしてはどうか？
- ・ レオクラブ入会しての魅力はPRしてはどうか？
- ・ 子供のお宅環境を家族が外へ出す環境へ変化させ、家族中にてレオクラブへ入会させる努力をしてはどうか？
- ・ 会員増強の一環として、YCE委員会との交流の場を継続的に進めてやってみようか？

等の意見をいただきました。

B 薬物乱用防止についての相談・指導

薬物乱用防止教育認定講師は現在335-C地区内で368名の講師認定者が活躍されています。今期の活動として、大学生、社会人への「薬物乱用防止教育認定講師」育成計画を実行したい。この件について京都府健康福祉部薬務課も協力をお願いします。とのこと。

提案事項として、小中高等学校で

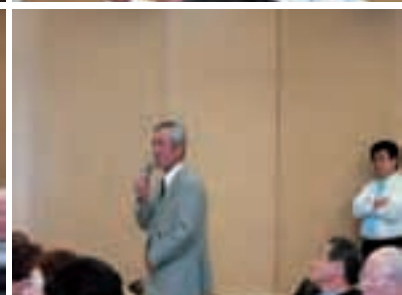
- イ) 学校教育の一環として継続性のある教育をお願いしたい。
- ロ) ライオンズメンバーの講師として、薬物乱用防止教室へ講師派遣をしてはどうか？
- ハ) 薬物乱用防止パレードへ積極的にライオンズメンバーが参加し啓蒙奉仕をしてほしい。

等の意見をいただきました。
 最後に地区レオ・青少年指導副委員長 花田 好壽より、今後とも貴重なご意見とご指導を賜り委員会活動のご協力をお願い申し上げますと閉会の挨拶があり、16:30に閉会いたしました。

今後の「明日の青少年を考える会」予定

- 9月10日（金）6R、7R 草津商工会議所
- 9月27日（月）8R、9R 猿沢荘
- 9月30日（木）5R ホテル北野屋

地区レオ・青少年指導副委員長 西村 博





5R~9R 明日の青少年を考える会

9月10日(金)草津商工会議所にて、6R・7R、9月27日(月)猿沢荘にて、8R・9R、9月30日(木)ホテル北野屋にて5Rの「明日の青少年を考える会」が、滋賀県健康福祉部 医務薬務課様、奈良県医療政策部 薬務課様、京都府丹後保健所 環境衛生室様を来賓に迎え、開催されました。

地区キャビネットより、第2副地区ガバナー L南 清右衛門には、全ての会議にご出席賜り、また、各該当リジョン内のゾーンチェアパーソン、また多くのクラブメンバーの出席を戴くことで、6・7R 32名、8・9R 24名、5R 27名と、盛大に執り行われました。

地区レオ・青少年指導委員長 L大石 博之が、開会の挨拶で、今年度の目標を示され、是非、参加者の方々の意見交換をしっかりと行いたいという、あついメッセージを示されました。

また、第2副地区ガバナー L南 清右衛門が挨拶のなかで、国際会長に掲げる「6つの光」の中のひとつは、「青少年に光を」であり、青少年を育てる事が、我々ライオンズの使命であると、レオ並びに、薬物乱用防止活動への取り組みの必要性を述べられました。

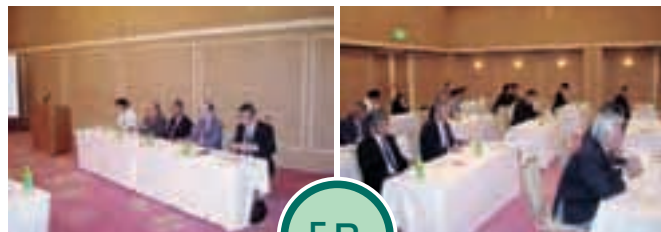
「レオ指導・育成について」と題した講演では、大石委員長が既にレオクラブをスポンサーしているライオンズクラブについては、今後ともレオへの指導をしっかりと行い、メンバー増強に努めて戴きたいという事と、レオをスポンサーしていないライオンズクラブに関しては、クラブ単位、またはゾーン単位での学園レオクラブのエクステンションを、是非、検討戴きたいとのお願いがなされました。

また、「薬物乱用防止について」と題した講演では、主に、滋賀県健康福祉部医務薬務課薬務室 薬事担当技師 太田 要様には「薬物乱用のキッカケと対策」、奈良県医療政策部薬務課 献血・薬物対策係長 吉田 直高様より「奈良県医療政策部薬務課の活動紹介」、京都府丹後保健所 環境衛生室 衛生担当 副主査 三木 栄徳様「薬物乱用の定義から京都府の取り組みなど幅広い知識」に主眼をおかれ、講演を賜りました。

その後の意見交換の時間では、それぞれのリジョン、地域毎に抱える事情と問題点、また過去にレオをスポンサーしていたライオンズクラブからの意見など、様々な忌憚なきご意見を頂戴し、非常に有意義な意見交換が行えました。

最後に、閉会の挨拶として、地区レオ・青少年指導副委員長、L吉田和之、L西村 博より、今後のレオ・青少年指導委員会の活動にご理解とご協力をお願いを申し上げ閉会いたしました。

地区レオ・青少年指導委員会



5R



6R
7R



8R
9R



全クラブ YCE セミナー開催

8月11日(水)リーガロイヤルホテル京都に於いて「全クラブ YCE セミナー」が、地区ガバナーL奥村啓二をはじめ地区役員14名、各クラブからは60名の出席で開催されました。

セミナーの前半は、YCE副委員長L池田修二の司会で進められ、地区 YCE委員長L川勝文男の開会挨拶で始まりました。名称が「YCE」と改められ「CAMP」の「C」の文字が加えられました。この度10年ぶりにセミナーを開催することになり、事業への関心の薄れを感じます。これを機にYCE事業への関心を深めていただきご協力をお願いしたいとお話がありました。



次に地区ガバナーL奥村啓二より挨拶がありました。1985年から地区 YCE 委員会に加わり、複数の委員長も勤めました。当時は活動が活発で仕事量も多く、心身とも休まる時が無かった。来日生は今までに15名受入れ、娘を派遣しました。他にも YCE 事業にたいへんご尽力されているお話がうかがえました。

続いて、川勝委員長から「YCE プログラムおよび事業活動について」説明がありました。YCE 事業は青少年の交換を通じて世界の国々と友好を築くことが目的でおこなわれています。今年度の夏期来日生は4名で、今期から受入れ先のローテーション化にご理解いただき、地区でバランスよく配分されました。来日生は、滞在中にホストファミリーの様々なもてなしを受け各家庭で過ごしたほかに、京洛LC・御室LC・栗東LC・鴨川LC・3R3Z合同などの各々のアクティビティにも参加し日本の祭りや文化、歴史を十二分に満喫し、無事に帰国いたしました。



夏期の派遣生は2名で、Exchangeの意味合いからすると折り合えないので、増員のご協力をお願いしますと、お話がありセミナーの前半は締めくくられました。

後半はYCE副委員長L松廣正哉の司会によりトーク・ディスカッション形式で進められ、パネラーとして地区ガバナーL奥村啓二、派遣学生保護者・地区 YCE 委員会顧問L佐原勤、今年度夏期のホストファミリー経験者・L山本隆志(亀岡LC)、進行はYCE委員長L川勝文男の4名で話が進められました。

奥村ガバナー…YCE事業は3つの青少年育成事業の1つであり、各メンバーが年間1,920円を拠出していきます。その事業費を有効に使うためにも、以前のように活発な活動を望みます。また、アクティビティにも反映していけるよう方向付けていきたい。YCE事業の価値は、受入れた留学生とその後も交流が続き国際交流が継続していくことにあるでしょう。

L山本隆志…受入れる来日生の資料の中に「ライオンズクラブの留学プログラムのおかげで日本に行くことが出来る」という言葉があり、それに応えるために日本の歴史と文化が体験できる内容の日程を計画した。日本に来て良かったと後々で思ってくれるでしょう。



L佐原勤…数回留学生を受入れ、派遣生として息子を送り出しました。帰国後の息子はライオンズの交換留学生の責務を果たし、精神面で一回り大きく成長したように感じました。ホストファミリーは時間的・金銭的に負担が大きいのですが、子供達と接する事でそれに増す喜びがあります。

ディスカッション後の質疑応答では、ホストファミリーの負担を軽減するために、キャンプなどの実地をしていただきたいと要望がありました。その回答に川勝委員長から、複合地区で5年前からローテーションで冬期にキャンプを継続して行っており、毎年参加していることが報告されました。



最後にYCE副委員長L木下昌平より閉会の挨拶があり、これを機に各クラブでのYCE事業への取り組みに力を入れていただき、周年事業のアクトの1つとするなど取り組みを考えていただくようお願いします。と締め括られ、セミナーは終了しました。

地区 YCE 副委員長 岡 はつき

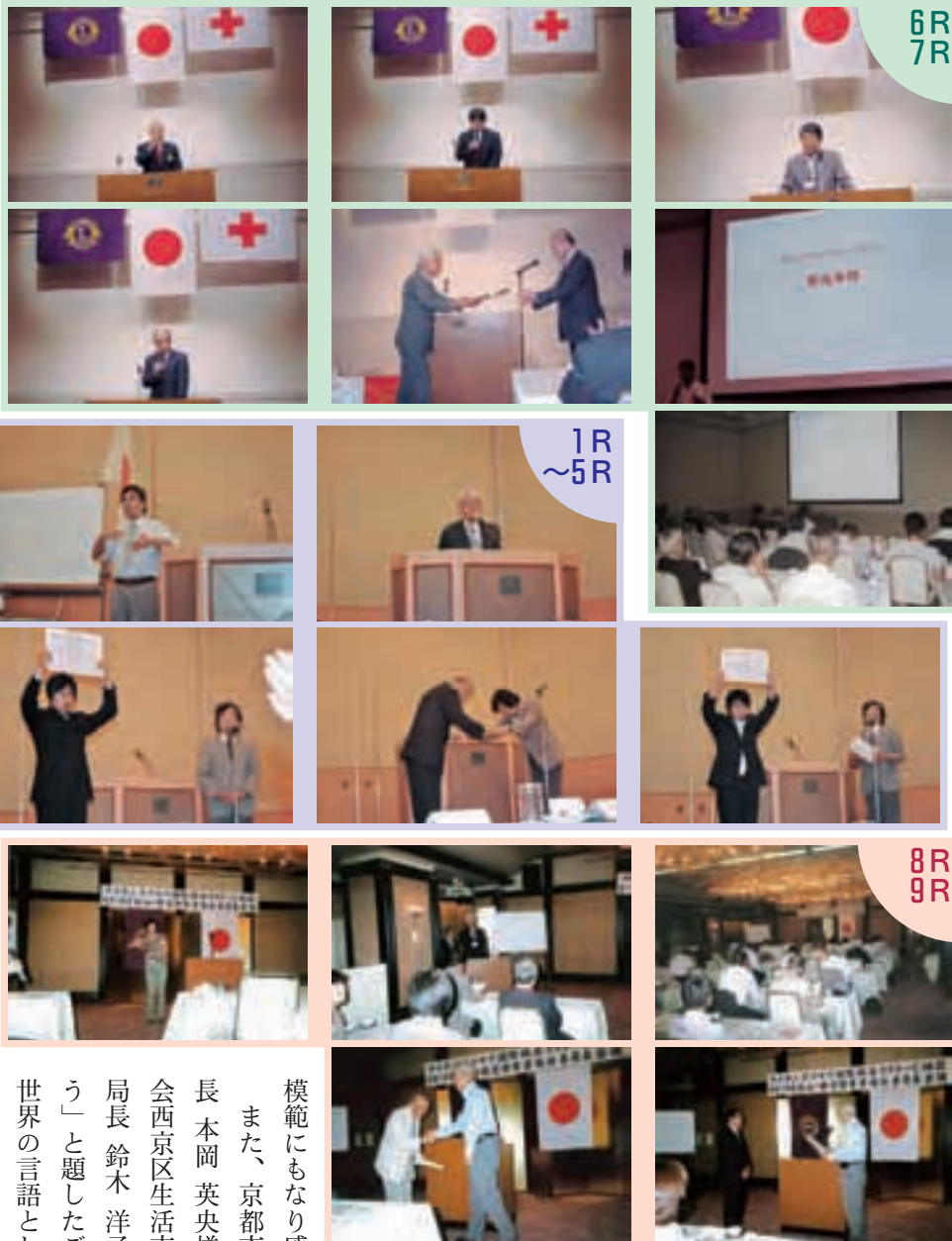
* 献血・聴覚障害者福祉委員長会議 *

8月23日(月) ポストンプラザホテル草津にて、6R・7R、8月24日(火) リーガロイヤルホテル京都にて、1R~5R、8月25日(水) 飛鳥荘にて8R・9R、地区献血・聴覚障害者福祉委員長会議が滋賀県健康福祉部医務薬務課様、京都府健康福祉部医務課様、奈良県医療政策部医務課様、3地区赤十字血液センター様、京都市聴覚障害者協会様、京都手話通訳問題研究会様を来賓に迎え盛大に執り行われました。

西原 三弥委員長が開会の挨拶で、献血ゼロクラブを無くし、前年度を上回る献血量の確保と、聴覚者福祉に関しましては行政と協力して一人でも多くの障害者の皆さんが社会参加できるよう(NPO法人デフピープル)努力したい、そして手話についてもより一層広めて行こうという今年度の委員会の目標を示されました。

地区ガバナーL奥村啓二よりライオンズクラブによる献血事業の重要性と、聴覚障害者福祉に対する取り組みの必要性が述べられました。

滋賀県赤十字血液センター所長 青島 敏行様より「滋賀県の現状とお願



の血液事情について」奈良県赤十字血液センター所長 森田 倫史様「献血事業の現況について」のご講演を賜りました。

献血に関しての知識と理解が得ることが出来ました。今後の献血奉仕を考える上で大いに参考になるお話であったと思います。我々、ライオンズクラブの献血アクティビ

ティの重要性を再認識いたしました。

6R 7R 献血・聴覚障害者福祉委員長会議では、近江守山LC献血委員長L尾谷 孝、献血副委員長L川北美津夫より「近江守山ライオンズクラブの献血事情」と題したスピーチをしていただき、非常に献血の重要性をよく理解され、熱心に取り組んでおられ、良い

模範にもなり感動いたしました。

また、京都市聴覚障害者協会南支部 長 本岡 英央様、京都市聴覚障害者協会西京区生活支援事業「悠友会」事務局 長 鈴木 洋子様より「手話を広めよう」と題したご講演が行われました。

世界の言語として手話が認められており、日本では手話にも方言があるとい

た普段では知ることのできない貴重なお話を頂きました。また、初対面での挨拶、自己紹介などを教えていただき練習が行われました。参加メンバーの関心の高さが伺え、非常に内容のある充実した会議になりました。

地区献血・聴覚障害者福祉委員会

全クラブ PR・情報委員長並びに IT 委員長会議

9月17日(金)リーガロイヤルホテル京都にて全クラブPR・情報委員長並びにIT委員長会議が司会者地区PR情報佐竹副委員長の宣言により開会致しました。



まず最初に地区IT松田副委員長により奥村地区ガバナー始め地区役員がご紹介され、引き続き地区PR情報森井委員長のご挨拶、そして奥村地区ガバナーにご挨拶をいただき幕が上げられました。

今回は北法相宗管長清水寺貫主森清範様をお呼びして「京都における文化と情報発信について」イスラエルとユダヤの子供たちについてをテーマに楽しく聞かせて下さいました。その中で人の心について分かりやすく我々の心にしみる様々なお話を聞かせてくださり、会場全員が感銘を受けました。

ザ・ライオンタイムズについては、今年5回の発刊の予定であり、その中で特に「雑句馬乱」(ざっくばらん)なる新コーナーを今回初めて設けました。

第23回国際平和ポスターコンテストについて、地区PR・情報出路副委員長よりポスターコンテストのテーマ「Vision of Peace」平和へのビジョンについて説明されました。今回の目的・内容は、平和の大きさを一層深く考え世界の子供たち1人1人にとって平和とは何かを表現していただくというものです。今回も素晴らしい作品が応募されることを期待されました。

クラブよりキャビネットへの作品受け付け締め切り

10月22日(金)

地区審査会 リーガロイヤルホテル京都

10月29日(金)

京都会場 日図デザイン博物館

11月14日(日)

滋賀会場 ビバシティ彦根

11月21日(日)

奈良会場 香芝市中央公民館

11月28日(日)

ブログの利用とeMMRサバンナについて地区IT北岸委員長より説明があり、もっと多くの投稿と利用を呼びかけられました。そして最後の締めとして地区IT森嶋副委員長の閉会の挨拶があり幕が閉じられました。





地区LCIFセミナー

去る2010年9月29日(水)リーガロイヤルホテル京都において335-C地区LCIFセミナーが行われました。



講師は、国際本部資金開発課長田辺憲雄氏を迎え、335-C地区ガバナー奥村啓二をはじめ各地区役員、特に今年度は、よりLCIFの強力な推進を図る目的で地区ゾーンチェアパーソンを主体にセミナーが行われ、徹底的に各クラブへ根をおろすべく28名の参加で開催されました。

LCIF視力ファースト献眼推進副委員長の司会のもと、今期委員長西浦裕巳からLCIF協力の決意表明、続いて地区ガバナー奥村啓二よりLCIFの推進は、国際大会決議事項を自覚し、各クラブが一致して取り組む事を強く望まれました。次に田辺課長のセミナーが始まり、LCIFの全容投資利益と運営費年次報告概要、LCIF開発計画及び諮問委員会等概要説明がされた。

献金関係として、献金と交付金の関係や献金の種類、日本の地区別献金額推移また、国別献金額の推移などの説明、

交付金関係では、地区別交付金実績、LCIF交付金の種類など、どのような事業なら申請できるか又、申請者は誰なのか、交付に至る適不適について実際の事例を挙げて具体的に話され、その後の活発な質疑応答があり、セミナーは3時半閉会致しました。LCIFへの積極的な取り組み、また交付金の有効活用を是非、御理解と御協力を希望するものがあります。

地区LCIF・視力ファースト・献眼推進副委員長

石井 良之

会員増強セミナー

◆日時 2010年9月29日(水)15:45~17:00 ◆場所 リーガロイヤルホテル京都



6月9日の会員増強セミナーに続き、去る9月29日(水)リーガロイヤルホテル京都において「会員増強セミナー」が開催された。会員増強に関わりのある4委員会の委員長を中心に今回は、地区内1R、9Rのゾーン・チェアパーソンの皆様と会員増強に関して話し合いの場が持たれ、質疑応答が行われた。

地区キャビネット運営委員長 門奈 邦治の司会で始まり、地区ガバナー奥村啓二から会員増強目的の根底は、ライオンズクラブの後継者づくりが主眼であるという主旨の挨拶があり、4委員長のスピーチに移った。

地区指導力育成委員長 鶴田 利雄から8月25日に本日出席の4委員長を含む4委員会合同会議を開催。例会の重要性、心のこもった入会式の大切さ等、内容説明があり又2002年から現在に至るまでの会員の推移、会員増強の必要性を訴える。

地区長期計画・リサーチ委員長 秋山 泰行は、時代の背景が会員増強を阻んでいる。全体的にどこかおかし歯車を正常に戻し、回転させていくよう努力すべき。

入会のしおりの作成(出来たら手作りの方が効果がある)会員拡大のチームづくり、業種別、会員の家族、退会者等対象に勧誘を図る。

地区区会員・リテンション・エクステンション委員長 持田 俊三より単一クラブ会長の大きな職務は、会員拡大が基本である。ゾーン・チェアパーソンの皆様の指導をよろしくお願ひしたい。会員増強プロジェクトチームは作るべき、又リテンションについても防止策を講じたい。

地区女性会員増強委員長 安田 弘子より女性会員数は期首290名であったが、7月10名、8月2名の増員があり8月末現在302名である。現在、大和高田、檀原の両ライオネスクラブに対してライオンズへの移行をお願いしているが、余りうまくいっていない。

その後、質疑応答に入り、1R2Zゾーン・チェアパーソン 西田 一彦、4R1Z 松田 竹司、5R3Z 金田 琮仁、7R1Z 高岡 武志 各位から発言があり、ゾーン内諮問委員会で奥村 啓二ガバナーの熱い思いを各クラブ会長に伝えていく。

メンバー減により運営費が苦しくなった。会費を下げるだけでは会員の減少は止まらない。良いゾーン・チェアパーソンとは具体的にどうあるべきか。会員各位の熱意と情熱こそが会員増強につながる等の発言があり17時10分に閉会しました。

地区キャビネット運営委員長

門奈 邦治

門奈 邦治



ガバナー公式訪問 初日ゾーン(4R2Z)

2010
11



平成22年「みんなの力で暴力・違法銃器追放」京都府民大会

2010年10月15日(金) 京都市南区の京都テルサにおいて開催されました。

この大会は、(財)京都府暴力追放運動推進センター、京都府銃器対策推進本部主催、京都府警察本部後援となり、関係諸団体から多数の参加者があり、ライオンズクラブ国際協会335-C地区も、地区ガバナー 奥村 啓二をはじめ100名の参加のもと盛大に開催されました。

オープニングには、京都府警察音楽隊、カラーガード隊による演奏、演技が披露され開演となりました。

第1部では、暴追センター理事長開会のことは、各活動を行っている団体、個人にお礼の挨拶。同会長挨拶、京都府暴力団排除条例の制定。

条例の主な内容

1. 府の公共工事からの暴力団排除
1. 暴力団排除特別強化地域(祇園、木屋町地区からの暴力団排除)

1. 暴力団事務所の新設を制限
上記3件を平成23年4月1日施行
大会宣言

本日ここに、平成22年度「銃器犯罪根絶の集い京都大会」並びに「みんなの力で暴力・違法銃器追放」京都府民大会を開催し、新たな決意をもって

- 1つ 暴力団を恐れない
- 1つ 暴力団にお金を出さない
- 1つ 暴力団を利用しない

の「暴力団追放3ない運動」と
けん銃を持つな・持たすな・預かるな を力強く宣言し閉会されました。

第2部として、NHK報道局社会部記者 板倉 弘政氏による「記者の目からみたヤクザ社会の最前線 その実態は…」をテーマとして講演していただきました。

NHK入局後に暴力団事件を担当、暴力団によるヤミ金融、銃撃事件や発砲立てこもり事件など体験談に基づき講演され、盛会裡に閉会されました。

地区キャビネット運営委員 林 相基





ライオンズクラブ国際協会335-C地区

アイバンク愛の光基金管理会 平成21年度 決算報告

335-C地区メンバー諸兄には、毎年「アイバンク愛の光基金管理会」に多大のご理解ご協力とご援助を戴き厚く御礼申し上げます。

平成21年度(09.7.1~10.6.30)の決算について、誌上を借りまして次の通りご報告致します。

平成22年8月
アイバンク愛の光基金管理会
前理事長 山本 皓一
(京都岡崎白川LC)

1. 収入	335-C地区援助金及び一般寄付金	4,436,578円
2. 支出	①事業費(公益信託基金分を含む)	12,138,818円
	②運営費	3,728,196円
	支出合計	15,867,014円
3. 収支	(差引不足金)	11,430,436円

※不足金につきましては、信託基金の取崩しと管理会繰越金にて穴埋めしています。

4. 事業報告

- ①335-C地区内の4アイバンクへ活動助成金700万円の贈呈と意見交換会の実施(09.11.13)
- ②機関誌「愛の光」Vol.19 25,000部の発行
- ③京都・読売両紙に啓発広告の掲出
- ④アイバンクシンポジウム(10.2.21)の開催
- ⑤洛東高台寺に於いて「愛の光感謝の集い」の開催(10.3.27)
- ⑥ライオンズクラブアイバンク例会の開催要請と講師派遣(計19クラブにて開催)
- ⑦目の愛護デーに協賛し献眼登録啓発活動の実施(09.10.4)
- ⑧アイバンクサポーター講習会の実施(09.7.27)
- ⑨その他京都広告賞に協賛しアイバンクポスター募集など

第1回会員増強合同委員会

◆日時 2010年8月25日(水)14:00~16:00 ◆場所 リーガロイヤルホテル京都

地区ガバナーL奥村啓二の今期最大の方針である会員増強に対して、地区4委員会(指導力育成委員会、長期計画・リサーチ委員会、会員・リテンション・エクステンション委員会、女性会員増強委員会)が合同委員会を結成して、第1回を上記の日時、場所に於いて、ゲストとして地区キャビネット幹事L植田隆夫、地区キャビネット運営委員長L門奈邦治をお迎えして、4委員長4委員会副委員長10名(合計16名)で、地区指導力育成副委員長L米澤泰一の司会により開会いたしました。

・会員増強は、あくまで単一クラブが中心になって行うことは言うまでもない。

・ゾーン・チェアパーソンは、各クラブの増強に対して常に指導、推進をお願いしたい。

・ゾーン・チェアパーソンが主催するガバナー諮問委員会にゾーン・チェアパーソンより合同委員会に要請があれば、具体的なお相談の
お手伝いをいたします。

最後に、第2回合同委員会開催は、地区長期計画・リサーチ委員会が担当と決まり、第1回合同委員会を終了した。

地区指導力育成委員長 鶴田 利雄





ライオンズクラブ国際協会335-C地区

* 第23回国際平和ポスターコンテスト 入賞作品 *

2010
11

最優秀作品 地区ガバナー賞



山根 葉奈様
宇治市立御蔵山小学校 6年

井ノ口 真実様
京都市立伏見板橋小学校 6年



中辻 七海様
京都市立桃山東小学校 6年

優秀作品 第二副地区ガバナー賞



望月 麻央様
甲賀市立油日小学校 6年

優秀作品 第一副地区ガバナー賞

設楽 萌華様
近江八幡市立岡山小学校 6年



優秀作品 地区会計賞



北得 絢香様
宇治市立三室戸小学校 6年

優秀作品 地区幹事賞



片岡 怜那様
城陽市立久世小学校 6年



ライオンズクラブ国際協会335-C地区

優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞



谷 歩美様
京都市立朱雀第一小学校 6年



富田 壮真様
京都市立南大内小学校 6年



里井 綾希子様
京都市立御室小学校 6年



京都市立岩倉南小学校 6年
木下 むぎ様



梶 怜奈様
京都市立藤ノ森小学校 6年



熊谷 彩音様
京都市立西京極小学校 5年



鶴藤 亜寿美様
京都市立嵯峨小学校 6年



青木 友理奈様
京都市立山ノ内小学校 6年



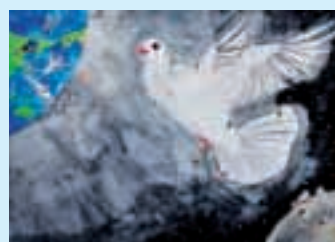
京都市立上賀茂小学校 6年
森 厚憲様



山田 恵理様
京都市立下鳥羽小学校 6年



精華町立川西小学校 6年
玉井 海央様



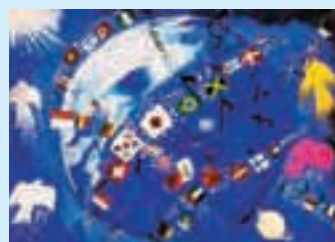
山内 祥平様
京都市立下京渉成小学校 5年



綾部市立綾部小学校 6年
山岡 奈々美様



綾部市立綾部小学校 6年
上柿 拓輝様

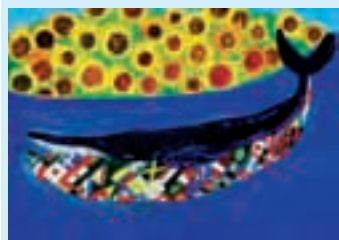


上原 和佳様
南丹市立胡麻郷小学校 6年



ライオンズクラブ国際協会335-C地区

優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞



浜田 明彦様
長浜市立北中学校 1年



澤田 あみ様
東近江市立蒲生北小学校 5年



栗東市立治田小学校 6年
都田 昌子様



大津市立晴嵐小学校 5年
濱 宏太様



智辯学園奈良カレッジ小学校部 6年
坂本 穂菜様



奈良市立青和小学校 6年
小和田 芽衣様



奈良市立椿井小学校 6年
小西 萌様



桜井市立桜井西中学校 1年
平木 陽菜様

優良作品 地区PR・情報委員長賞



京都市立大宅小学校 6年
上村 志帆様



京都市立嵯峨小学校 6年
原田 静佳様



京都市立上賀茂小学校 6年
徳永 大空様

努力賞



光華小学校 5年
吉岡 龍之介様



京都市立山階南小学校 6年
加藤 百華様

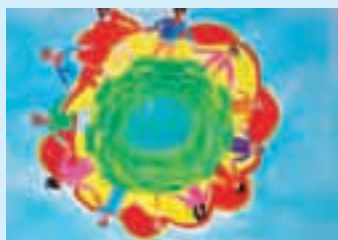


京都市立安朱小学校 5年
矢野 恵莉佳様

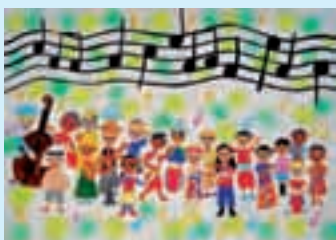


ライオンズクラブ国際協会335-C地区

努力賞



磯部 真奈加様
京都市立納所小学校 6年



小川 梨央様
宇治市立南小倉小学校 6年



四方 美咲様
京都市立紫竹小学校 6年



菅沼 一真様
綾部市立綾部小学校 6年



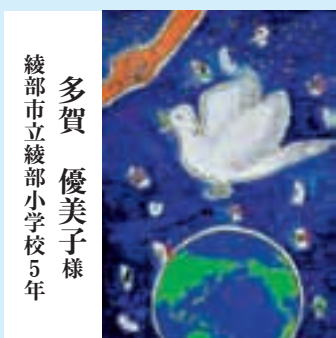
森本 帆乃夏様
向日市立第3向陽小学校 6年



藤井 ほのか様
久御山町立御牧小学校 6年



清水 瑠莉様
東近江市立能登川東小学校 6年



多賀 優美子様
綾部市立綾部小学校 5年



村上 架月様
綾部市立綾部小学校 6年



平川 孔星様
奈良市立青和小学校 6年



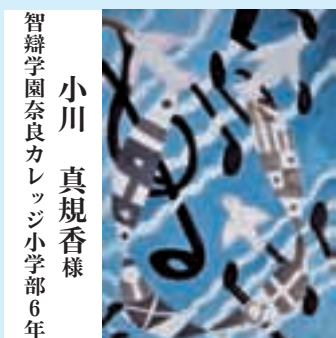
西田 更紗様
彦根市立金城小学校 6年



三輪 絢香様
東近江市立五個荘小学校 6年



野澤 優仁様
智辯学園奈良カレッジ小学部 5年



小川 真規香様
智辯学園奈良カレッジ小学部 6年



中島 史穂様
田原本町立南小学校 6年

クラブ便り

大和郡山LC

芋作り体験学習 芋苗植え

大和郡山ライオンズクラブでは市内数ヶ所の幼稚園（年少3才・年中4才・年長5才）を対象に、本年5月17日、L中谷正輝氏所有の畑をお借りして天候不順の中、天気の神様も味方してくれたのか筒井幼稚園児101名のさつまいもの苗植えを無事に行い終えることが出来ました。そして、6月14日、L藤本晃良氏所有の畑で（やや遅い梅雨入りの雨で、落ち着かず心配していた）北幼稚園児144名のさつまいもの苗植えも無事に終えることが出来ました。

このさつまいもの苗植え計画は数年前から実施されており毎年この季節になると、L中谷、L藤本両氏によって幼稚園児の受入れの世話から苗を植えるための準備や手入れ、そして芋掘りが終わってから事後の管理まで大和郡山ライオンズクラブの会員としての枠を超えた物心面の提供に大変ありがたく本当に頭が下がるおもいであります。

そして我々会員はもちろん幼稚園児の楽しみであるこの事業を何とか成功させてやりたい、されど天候にも逆らうことは出来ず、我々は子供（幼児）達の願いと天候を祈るのみ、そんな思いの中、すべてが味方になってくれたのか無事に計画の苗植えを終える事が出来たことに何事にも変えがたい喜びを感じることが出来たのであります。

幼稚園児の芋苗植え体験学習も終り、ふと当時の事を振り返ると芋つるに手を出して一生懸命に土をかぶせようとしている園児、足元がふらつき土をかぶせることも出来ず半泣きの園児等々子供達の自然な姿や取り組みの姿にひと時の安らぎを感じると共に、自身の孫よりも小さい幼児達の「ありがとう」の御礼の声等、本当に幼児達に親しまれて喜びを感じられている童顔には疲れもこれ、心打たれるものがあった幸せを感じ、微々たる奉仕活動のこの芋作り体験学習は意義あるものであり、伝えるもの、そして伝わってくるものがあったと実感を得た。

秋には、子供たち皆が色んな思いを込めて土の中に植えた芋苗、きつと皆の手より大きくなっており芋苗も皆を待っている事でしよう。『元気で楽しみにして、又頑張りますしよ』

幹事 八尾 徹



京都嵐山LC

京都両洋高等学校国際レオクラブ合同 桂川河川敷清掃活動及びレオ卒業生を祝う会

美しい河川にしようと毎年、京都両洋高等学校国際レオクラブと合同で「桂川河川敷清掃活動及びレオ卒業生を祝う会」を催し、レオメンバー20数名と京都嵐山ライオンズクラブメンバーと共に河川の清掃活動を致しました。後にバーベキュー大会を開催して楽しい有意義な一日を過ごしました。

（河川敷はバーベキュー、花火の後始末などは数年前よりきれいになっていますが、まだ後始末が不十分です。美しい河川敷になるようにしましよ）

PR・情報委員長

田中 巖





クラブ便り

綾部LC

「みなつき献血」 7月24日(土)

今年は分かりやすく梅雨が明け、海の日以降、日差しが強く連日の猛暑に体力を奪われる中、当綾部ライオンズクラブは「あやべ献血推進協議会」主催の「みなつき献血」に協賛しました。



当日朝9時より綾部市保健福祉センターで例会を行い、京都府赤十字血液センターの副所長 伊藤俊之様・管理課長 谷口重喜様をゲストにお招きし、最近献血条件の変更があった「海外渡航後の献血制限の意味について」の講話を伺いました。その後、手分けして綾部市内へ啓発活動に参加したり、献血会場で粗品渡しのお手伝いをしたりと、献血登録奉仕に協力しました。前日までに市民新聞に広告を掲載し、会長が地元ラジオに出演してPRを行い、広く市民に献血への協力を呼びかけたことにより、本年度は150名を越える方々が会場に足を運んで下さり、131名の実績を残す事が出来ました。

昨年度は年間1300人を超える市民の皆様が献血にご協力頂き、当クラブにおいて献血推進活動は最重要アクティビティとなっています。これからも会員一同、協力して取り組んでいきます。



広報委員会

乙訓・洛西・嵐山・嵯峨野・西の丘・みやび各LC

3R3Z夏期YCEE合同アクティビティ 広島研修旅行

2010年7月27日8時過ぎ、新都ホテルに集合しました。

ホストファミリーの方々と地区YCEE委員長・L川勝文男ら各LCメンバーに見送って頂き、京都駅から広島駅10時58分着のぞみ号に乗りしました。



広島駅からホテルグランピア広島へ徒歩で移動し、ゾーンチェアパーソン・L安田俊雄に歓迎の挨拶を受けレセプションとランチパーティーを頂きました。

ランチの後はタクシーで平和記念公園へ向かい慰霊碑に花束と祈りを捧げました。



園内の広島平和記念資料館(原爆資料館)においては研修生達も熱心に見学していたようで、原爆の悲惨さや戦争の恐ろしさを、それぞれの目で学んでくれた事と思います。

帰路も同じくぞみ号で、京都駅には18時過ぎに到着し、迎えに来てくださったホストファミリーと合流して解散と致しました。

乙訓LC・L小西章には、今回たいへんお世話になりました。

ありがとうございました。

PR情報委員 京都西の丘LC L柄本 正晴

京都淀LC

奉仕の「光」を灯し続けて30年!

この夏の猛暑は、普段元気な若者達にとっても厳しい夏・8月22日京都淀LC早朝奉仕例会には、300名を超える地域の方々の参加を賜り淀城跡公園の清掃を行いました。

ことの始まりは、1980年8月京都淀LCメンバーにより早朝奉仕例会として行われてきましたが、3、4年後から地域の方々の参加、協力の輪が広がり、現在では地元中学生から老人クラブ、女性会、企業、自治会等の皆様方に参加して戴いております。

当初は6時から8時まで清掃活動を行っていましたが、参加人数も年々多くなり、ここ数年からは7時から8時までの一時間と致しました。それでもゴミの山は直ぐに小山と化していききました。多くの人は素晴らしい汗の結晶、奉仕として残りました。



今年も地区ガバナー・ホストクラブとしてシドニー国際大会で着用した法被を着て、奉仕活動を行いました。また、当日はクラブ保健委員会のメンバーにより、アイバンクの登録の啓発キャンペーンを行った結果、31名の方々が登録を戴きました。酷暑の中、早朝よりご参加戴きました皆様方に心より感謝申し上げます。そしてこの奉仕活動の「光」を閉ざすことなく永遠に続けて参ります。



クラブ便り

京都やわたしC

CN25周年記念事業

八幡市へAED贈呈式・普通救命講習会

CN25周年記念事業のうちのひとつ。AEDの小学校への寄贈式典が、8月30日月曜日に八幡市文化センターで執り行われました。朝早くから八幡市長明田功様をはじめ今井教育長他各関係部署方々の出席をいただきました。

当クラブ岡本会長の挨拶で始まりました。その中で、岡本会長が「AEDはあまり活躍してはならないものであるが、ないと困るもの。寄贈はさせていただくがなるべく使わずにいてください」のコメントがありました。実行委員長のし板谷より市長に目録贈呈。のちに市長がお礼の挨拶のとき「使用せずに越した事がないですね」と事故が起こらないようにと願いのこもった言葉をいただきました。

事業部会部長のし高田の閉会の辞で式典を無事終了することになりました。

広報・接待委員長 八木 克之



京都パレスしC

第474回 納涼家族例会

平成22年8月29日(日)

今日の納涼例会は、神戸方面へ日帰り小旅行となりました。京都市内と比べて5〜6度気温が低いことでしたが、今年の暑さは異常な程「あつい」から六甲といえど暑かった。

六甲カンツリーハウスでは、展望台に行く者やパットゴルフやる者コートに乗る者などいろんなことをして楽しみました。そして、昼食は六甲ホテルに於いて全員集まってパーベキューを食しました。「おいしっ」例会としては、行きのバスの中で開会のゴング、ライオンスクラブの歌、ライオンと呼ぶる人等一通りの流れをしましたが、バスの中で行うというのは初めての試みでした新鮮な趣で本当に楽しい例会で良かったと思います。

会長・幹事、計画委員の皆様ご苦労様でした。





クラブ便り

愛知LC

第21回 青少年健全育成教育講演会

夏休みが始まったばかりの8月3日、旧地区内4つの中学校1年生の皆さん324名が一同に集まってシンナーや麻薬などの恐ろしさを知っていただき、「もし誰かに誘われてもきっぱりノーと言える人」になっていただきたいとの願いを込めて毎年開催しています。

今年でこの講演会も21回を重ね、今日まで約7000人の生徒さんに参加していただいています。今回は第1部講演に東近江警察署愛知川警部交番所長の川平貞永氏の「少年非行をなくす為に」と題してビデオを25分上映後、地元や県下の事例を交えて万引き、放置自転車の乗捨ては犯罪になるとお話しされ最後には薬物の恐ろしさをお話し頂きました。

第2部の講演では元甲子園球児で大学時代に野球の試合で重度の障害を負った清水 哲さんが『生きる勇気をありがとう』と題して講演した。清水さんはP.L学園高校野球部OB。1年後輩で元プロ野球選手の清原和博、桑田真澄さんらと夏の大会で準優勝などを経験。進学した同志社大でも野球部に所属したが公式試合で2塁にヘッドスライディングを試みた際、相手の遊撃手と激突して首の骨を折り、車イス生活を余儀なくされた清水さん自身の体験に触れながら「命を授かった以上は全うに生きて欲しい」と語り掛けた。

寄稿 高田 久良



彦根LC

CN50周年記念アクティビティ

彦根ライオンズクラブ設立50周年記念のアクティビティとして、島田洋七氏の『がばいばあちゃんの子育て論』の講演が行われました。

7月25日、ひこね市文化プラザグラウンドホールにて、1000人を超えるお客様に、彦根ライオンズクラブの50年の歩みが紹介されました。CN50周年の実行委員長L広井義縁の挨拶につづき、島田洋七氏が独自の「子育て論」で笑いと感じを市民の方々に伝えると同時に、高齢者でも元気に毎日が過ごせる秘話も紹介され、講演を聴かれた方々は楽しい思いを胸に、笑顔で帰路につかれました。

講演と並行して、恒例のアクティビティ、『盲導犬支援』の募金活動も実施され、地域の方々に彦根ライオンズクラブのウイサープの精神をおおいに伝えられたのではないかと思います。講演にこられた皆様の笑顔を見て、このアクティビティの意義を感じ、事業を継続していく決意を新たにいたしました。

I・T・P・R委員長 宮川 康彦



クラブ便り

桜井LC

平城遷都1300年祭 “山の辺の道”

ウォーク&クリーンハイク

9月26日(日)、平城遷都1300年祭 “山の辺の道” ウォーク&クリーンハイクが行われ、当クラブも例会としてメンバー全員で参加してきました。

一般市民も無料で参加出来るこのイベントは、平城遷都1300年祭のウォークイベントの一つで、秋晴れのこの日、朝早くから大勢の方々が集まり、みんなでゴミを拾いながらゴールを目指しました。



この日に合わせて作成した真新しいお揃いのポロシャツにメンバー全員が袖を通し、ポーンスカウト、ガールスカウトの方々と一緒に一路 “山の辺の道” へ。

この「山の辺の道」は史実に現れる我が国最古の道で、古墳や古社寺、旧跡が多く点在するまさに「歴史街道」そのもの。そんな歴史的な遺産を数多く地元を抱える当クラブは、継続スローガンに「文化財の保存は、我らの手で」と掲げています。

まさしくその言葉通りに、これからも桜井LCが貴重な歴史的遺産や景観を保全する一役を担い、又その他の様々な活動を通して地域社会に貢献できるように努めていきたいと思っております。

PR情報—T委員会

園部LC

第29回 園部ライオンズクラブ杯争奪

少年野球大会

9月5日(日)今年で29回目となる園部ライオンズクラブ杯争奪少年野球大会の開会式が、まだ残暑厳しい中、南丹市美山町長谷運動公園グラウンドで開催いたしました。すっかり地域の少年野球関係者には定着し、年々参加チームも増え本年度は学童の部27チーム・中学の部8チーム、計35チームでの大会となりました。子供たちの健全な心と体の育成を目的とし長きに亘り地元ライオンズクラブとして関わりをもつことができ大変うれしく思います。

開会式には会長をはじめ当クラブメンバーが出席をし、子供たちの力溢れる入場行進を見守りました。また開会式後には学童選抜チームと園部ライオンズクラブチームとの親善試合を行い、メンバーも童心に返り、白球を追い気持の良い汗を流しました。

9月19日20日の両日で各部の決勝戦が行われ優勝チーム・準優勝チームにはメダルと賞状が授与されました。

YCE・広報委員会



その他の活動

8月15日(日) 「八木花火大会クリーン大作戦」



クラブ便り

京都洛東LC

第20回 山科学童野球連盟秋期大会

九月とはいえ朝から強い日差しが照りつけるなか、第二〇回京都洛東ライオンズクラブ旗争奪大会山科学童野球振興会秋期大会開会式が開催された。同大会は当クラブが力を注いでいる青少年育成事業として、結成二〇周年記念事業として主催し、第20回となる今年は9月4日岡崎グラウンドで、Aの部18チームBの部15チームJの部13チームの選手が監督、コーチ、父母、ライオンズメンバーらが見守る中、花山中学ブラスバンド部の先導の元堂々の入場行進が行われ、当クラブ廣田頼子会長の始球式で熱戦の火ふたが切られた。又2年前より学童数の減少が続く東山区の3チームも大会に加わり、10月30日の決勝に向けてトーナメント方式で行われる。

スポーツを通して選手達がチームメイト同士の友情・信頼並びに日頃熱心に指導してもらっている監督・コーチ及びに父兄への感謝の心を学び育むことこそ、この大会を開催する大きな意義があるとメンバー一同考えています。

計画広報委員長 谷藤 佳孝



19チーム計610名の選手が参加



花山中学校の吹奏楽部が開会式を盛り上げてくれた



真っ黒に日焼けした学童野球の選手たち



最高の天气に恵まれ、最高の入場行進が行われた



憧れの黒土『岡崎公園グラウンド』にて開会式



洛東ライオンズクラブメンバーが一人ずつ紹介される



入場行進を見守る洛東のメンバー



優勝旗返還に伴い記念トロフィが渡された



返還された優勝旗を争奪する熱い戦いが幕を開ける



昨年の優勝チームが優勝旗を返還する



始球式!! 豪快な投球フォームで三振を奪う会長し廣田頼子



選手宣誓『山科友朋』藤本晃貴選手



山科学童野球振興会顧問であるし富さくおの祝辞



グラウンドで助成金の贈呈式が行われた



本大会会長であるし廣田頼子の挨拶



この優勝旗に歴史を刻むのは…



『プレイボール!!』これから熱戦とドラマを展開する



京都洛東ライオンズクラブメンバーにて記念撮影



クラブ便り

京都紫明LC

クリーンアップ「紫明」通り

奥村啓二地区ガバナーが本年度の基本方針として掲げておられる市民参加型アクティビティー、そして環境美化デーの趣旨に沿った労力アクトイビティーを10月5日（火）に実行致しました。昨年度地域住民との取り組みの中で清掃用具の収納を兼ね備えたベンチを寄贈した我がクラブと同じ名の「紫明」通りを市行政そして北区社会福祉協議会、北区女性会の方々と共に美化活動を行いました。見知らぬ行き交う人々より「ご苦労様」「ごろうつさん」とお声を掛けていただき、身近な「We Save」を実践していると嬉しく感じました。ホテル会場の例会だけでなく、同じユニフォームを着、野外に出てよい汗を流してメンバー同志がより一層の絆と結束を生み出せたと思います。



近江守山LC

「第6回近江守山クラブ杯サッカー大会」

2010年10月2日（土）
於「野洲川歴史公園サッカー場」



秋晴れの中、当クラブL村上（コミュニティ委員長）の指揮の本 20名近いライオンが応援に駆けつけた。通称「ライオンカップ」（小学生を対象にトーナメント方式で競うもの）は2005年「ビッグレーク」（守山野洲地区の本格的サッカー球場）のオープンに呼応するように、青少年健全育成の一環として第1回目を開催した。その時は私（南井）が会長で、現会長のL山本隆一が幹事の時であった。珍しい事ばかりであるが、その時「ライオンカップ」の創設に一番熱意を示したのが、現幹事L村田庄一である。私自身は球技が不得手で、サッカーが小さな子供達から、プロのJリーグの人まで（サポーターを含め）こんなに幅広く受け入れられるとは思っても見なかった。奇しくもの縁が深い人間関係と物事の間にあるのだと気づいた。

「野洲川歴史公園サッカー場」が本名で、この公園内に当クラブの物故で衆議院議員であった宇野宗佑氏が、国から4800億もの野洲川大改修工事費の橋渡しをし、その顕彰碑が立派な巨石に刻まれている。（30年前のこの工事のお陰で、野洲川はその後一度も決壊していない）そして、またまた奇しくも、この通称「ビッグレーク」発案者であり、国、県の橋渡しは宇野宗佑氏の息子宇野治氏であったと記憶している。午後4時半、表彰式、優勝はやはり野洲市の篠原サッカークラブジュニア、そしてホッとするのが準優勝は地元の速野サッカークラブであった。勿論、会長L山本、幹事L村田庄一、L小山等のお膝元で、悔しいが満足のゆくものであったと思う。主賓のご挨拶を頂いた守山市長の山田宣宏こそ「ビッグレーク」の誘致者である。最後に、あいにく欠席の山本会長に代わり、4時半からの表彰式の表彰状の手渡し、メダル懸け、メンバー全員への参加賞授与並びに主催者挨拶を頂いた、第1副会長のL間宮基二郎の澆刺とした声と態度が、同席の私達メンバーや子供達、サッカー選手に凜と響いたことを伝えておこう。

会員委員会 南井 繁樹

その他の活動

- ・ 8/21（土）ボーイ・ガール・ライオンズ合同例会
- ・ 9/18（土）目田川カキツバタ奉仕
- ・ 9/23（木）寿例会



クラブ便り

亀岡保津川LC

もみ殻炭で藻防ごう!!

当クラブの環境保全委員会の事業として清掃活動を毎年してきたが、ここ数年前から水質の悪化によると思われる藻の発生が見られるようになり今回、公園内小川にもみ殻の炭を入れた袋を沈め、藻の繁茂を防ぐ試みを始めた。炭には水を浄化する効果があるといい、水質を改善することで藻の発生が防げれば今後使う予定である。



田原本LC

「報恩感謝の心」でウィ・サーヴ

田原本LC（会長 森 和俊 会員数32名）は、9月26日（日）奈良県磯城郡三宅町文化ホールに於いて、9月第2例会を開催しました。

当クラブは、来年度35周年を控え、節目となるこの機会に「大和磯城（やまとしき）LC」に改名を予定しております。

今年度より磯城郡3町（田原本町・三宅町・川西町）にエリアを拡大して会員増強に努めているところであり、その一環事業として今回地域住民の方々を対象にした講演会を開催し、ライオンズ活動に理解と信頼を得、広くPRすることを目的に行いました。（参加者400名）

町民参加のなかで開会宣言、国歌「君が代」斉唱、「ライオンズクラブの歌」を合唱、会長の挨拶、そして今回磯城郡3町及び檀原青年会議所のご後援を頂き、来賓を代表して田原本町長の挨拶があり、その後「世界遺産」薬師寺の山田法胤管主法話を開催しました。

テーマは、会長スローガンでもあります「報恩感謝の心」。「私たちは多くの恩恵のお陰で大自然の中で生かさせてもらっているという感謝の心をもっとも大切」また、「感謝する心があるのとないのでは人生が大きく異なっていく。心が広いと宇宙さえ見えるが、心が狭いと針の一本も入れることすら許さない」と法胤師、ユ一

モアを交え師独特のソフトな語りぐちで満座の来場者が法話に聞き入りうなずくことばかりで、今回の公開例会は成功を収めました。

私たちはこの経験で一つの教訓を得ました。何事もー会員増強は勿論のこと、一汗を流し一致協力して成せば事がうまく運ぶということですね。講演例会が終わって、私たちは大安堵し活力が満ちているなか、ライオンズの喜びと新しい出発を期してさらなる希望を持っているところです。

PR・情報・IT委員長 L福原 誠作



クラブ便り

京都西LC

第6回 京都ウエストライオンズカップ.. 少年ラグビー大会

京都西LCは「京都ウエストライオンズカップ（少年ラグビー大会）」を9月19日、宝が池球技場にて開催しました。

2005年より毎年開催し第6回目を迎えた本大会は、その初期に於いては、準備・運営も手探り状態で有りましたが、開催場所を宝ヶ池運動施設球技場に移してからは、京都府、京都市、京都府ラグビーフットボール協会など関係諸団体の皆様のご協力を頂き、毎年盛況になって参りました。

本大会は、京都府下にありますラグビースクール（小学生高学年対象）にご参加いただいております。

各ラグビースクールでは、ラグビーというスポーツを通して、子供たちには決して楽ではない練習の中で、チームワーク・即ちチームにおける自分の責任、チームメンバーへの協力等を体で体現させる事で、少年の健全育成に努めておられます。

又、その努力の発表場所の一つとして「京都ウエストライオンズカップ」にご参加いただくことは、我々京都西ライオンズクラブの奉仕の大きな柱となります。青少年健全育成活動と目的を同じくし、どんな事にも正面から立ち向かう強い心を、そして相手を思いやる優しい心を育

む環境を創出しているのではないかと考えます。

毎年大会当日は、京都西ライオンズクラブ及び京都西レオクラブ総出で運営に当たってきておりますが、今回、西レオクラブの中に第1回京都ウエストライオンズカップ優勝チームで選手として参加し、優勝メダルを手にしたメンバーがいました。

今後こうした後輩の育成に注目し、奉仕活動に加わってくれる若者が増える事を期待したいものです。

回を重ねることと思う事は、強いチームも有り、なかなか勝てないチームも有る中で、どのチームの子供たちも、勝敗の如何に関わらず、一様に一事を成し遂げたという満足感が顔に表れており、その後の表彰文歓会・アフターマッチファンクションでは、屈託の無い子供の表情を見せられます。

こうした子供たちを見ていますと、このラグビー大会の意義を再認識すると同時に、素晴らしい大会にしなければの思いに駆られます。

2010年京都ウエストライオンズカップ大会
実行委員長 一本松 秀樹



ノーサイド、惜敗した洛西RS選手との涙ながらの握手



タックルは人工芝をも引きちぎり舞い上がらせる



ガバナーズアワードを手に激励される奥村啓二ガバナー



アフターマッチファンクションでのチーム対抗隠し芸大会



3連覇に突進するアウル洛南 JrRFC に立向う洛西RS



小学生とは思えない迫力あふれる渾身のプレイ



クラブ便り

京都洛陽LC

第33回 洛陽文化講座 第1講 (通算124講) 開催

とき：平成22年10月16日(土) 午後2時～4時
ところ：京都商工会議所3階講堂

京都洛陽LCには、恒例になっている「大車業に金毛茶会と洛陽文化講座があります。その文化講座今期第1講目が、開催されました。日本の文化、京都の文化を広く一般の方々に啓蒙すべく始められたこの洛陽文化講座も今年33年目になり、通算124講を迎えることになりました。途切れることなく続けられたことに改めて歴史と先輩方の努力を感じるところです。

今回は、NHKドラマ「龍馬伝」「坂の上の雲」の人気の便乗すべく、幕末・維新、明治初頭にスポットを当てる事にしました。講師には、日本近現代史専攻で、京都府立総合資料館長・京都府立大学名誉教授であられる井口 和起先生をお迎えし、「維新・明治の青年群像」というテーマでご講演頂きました。会議所3階講堂には、多数の聴講者が来られ熱心に先生のお話に聴き入っておられました。

講演を聴き、あの時代の青年達は殆ど総て漢学という学問の素養があり、そしてその上に西洋学問を学び、「これからの日本はどうあるべきか？」を真摯に考え、大きな志を胸に命がけで祖国のために尽くしていた事を改めて知る事が出来ました。今の時代の人達は、大いに学ぶ

べきところありと痛感。結びとして読まれた石川啄木著「時代閉塞の現状」の一節は、まさに今の日本の現状そのものを示していました。時代は同じようなことが繰り返されるんだなあとつくづく感じました。井口先生と多くの聴講の方々感謝です。

文化委員長 松本 安博





クラブ便り

京都市城南L.C

さつまいも掘り大会

10月3日(日)、前日から心配された雨にも降られずに、穏やかな日に恵まれ、京都市城南ライオンズクラブの「第13回芋掘り大会」を開催致しました。

昨年、一昨年と都合で休止していたこともあり、市内の6ヶ所の福祉施設から参加した園生、保護者、先生方も大喜びでした。

地区ガバナー L奥村 挨拶



アワード贈呈



地区ガバナーL奥村啓二はじめ、地区役員、4R3Z内5クラブの会長・幹事さん並びに京都市城南L.Cのメンバー、L、LJ総勢170名が参加し、童心にかえって障害を持った子供たちも自分の

～いもほり風景～



第一副会長 L藤原 閉会挨拶

コンテスト表彰



手で掘り当てた大きなさつまいもに感動の声を上げていました。

L.Lの皆さんの協力で採りたてのさつまいものから揚げ食し、秋の味覚を和気あいあいと楽しみ、障害者と健常者が一緒に自然の土に触れながら収穫の喜びを共にしました。

参加者の生き生きとした明るい笑顔にメンバー一同“W e S e r v e”の意義を改めて心に誓ったところです。

友好・PR委員長 中村英夫

京都醍醐L.C

「空き缶リサイクル回収」事業

平成22年10月17日(日)



京都醍醐ライオンズクラブでは、継続アクティビティとして、市民との環境美化活動及び資源再利用を目的として今年度は環境美化デーに合わせ10月17日(日)に京都市立醍醐小学校に於て、実施を致しました。内容は山科・醍醐地区の小学校・中学校・地域団体に街のあちこちに捨てられているアルミ缶やスチール缶を1年間にわたって回収して頂き、当クラブでアルミ缶1ヶ1.5円スチール缶1ヶ0.5円で買いとらせて頂き各団体はそれぞれの活動資金として利用されています。



特に今回は醍醐中学校では約80,000円(相当な数である)日曜日にもかかわらず、先生や生徒達約70〜80名が参加され次々と回収車に積み込み作業を汗いっぴいながら手伝ってくれました。15団体より総数約180,000缶、金額で約270,000円を支払いました。又当クラブからは、八木光次会長をはじめ、16名の参加でスムーズに作業が進みお互い心地よい汗をかきながら終える事が出来ました。又、来年もたくさんの方々の缶を集めて頂き、美しい街を目指して地域の方々と共に続けて参りたいと思います。

第3副会長 小山 好弘



クラブ便り

京都洛西LC

少年野球大会開催

京都洛西ライオンズクラブ（西村誠二会長／19名）は「第29回京都洛西ライオンズ旗杯争奪少年ベースボール大会」の開会式並びに1回戦8試合を素晴らしい秋空のもとに9月26日（日）洛西小畑川グラウンドにおいて開催した。今年は16チームの出場で360



名人余りの小学4年生以上の入場行進のもとに始まった。「イチニ・イチニ」声をそろえていくチーム。足を合わそうともがいているチームでもみんなが一生懸命に行進をしている。

西村会長の「元気に日ごろの力を思う存分發揮してください」と選手たちに激励の挨拶、続いて3R3Zゾーン・チェアパーソンし安田俊雄「あの優勝旗目指して皆さんの力を存分出して頑張ってください」と挨拶があり、檜原クラブ主将の「最後の6年生の大会として悔いのない思い出の大会とすることを誓います」と選手宣誓。続いて昨年度の優勝旗返還の後、西村会長のワンバウンドの始球式のもとに4日間にわたる試合が始まった。

この大会も29年の歳月がたち最初から大会の世話をずーっとしている人、世話人からライオンズメンバーになった人、1回大会の選手で今は指導者になっている人、様々な人の集まりで続けてこれたと思います。大会関係者も毎年増え、多数の父兄も喜んでいただいているものと思います。いつまでも継続するよう努力するつもりです。

京都堀川LC

「堀川ジュニアコンサート」開催

好天に恵まれた10月10日（日）に、本年度のメインアクトとして、今年の春に新築移転した京都市立堀川音楽学校のコンサートホールにおいて、当クラブのサーブエリアである、堀川通沿線地域の市立中学校4校の吹奏楽部によるジュニアコンサートを開催した。

全国でも珍しい音楽単独課程の公立高校の本格的なコンサートホールにて、日頃の練習の結果を発表できるとあって、生徒一同は大張り切りであった。

当クラブ会長し中村の開会挨拶と、門川京都市長、ライオンズクラブ国際協会3351C地区奥村ガバナーのご挨拶があり、第一部2校、第二部2校に分かれて、各校の担当先生の指揮の下、各校独自の曲目により演奏された。

約300余席の客席は出場者の父兄や、ライオンズ関係者等満席となり、立ち見が出来るほどの大盛況であり、パンフレットも品切れとなった。

企画・総括の青倉第二副会長の言葉で盛会裡に終了した。

PR委員長

粟田 正雄





L 林 晃生
(S. 43年 3月18日生)

京都L・C

京滋ユア電機 株式会社
代表取締役
自動車電装品・携帯電話販売



L 藪内 照久
(S. 42年12月13日生)

京都L・C

茶道藪内流
若宗匠
茶道



L 細辻伊兵衛
(S. 39年 8月31日生)

京都L・C

株式会社 永楽屋
代表取締役社長
染織商品製造小売

新会員の紹介

おめでとーございます



L 今井 守
(S. 22年 7月 5日生)

京都賀茂L・C

賀茂別雷神社
権宮司
神職



L 小山 幸容
(S. 31年 9月19日生)

京都京洛L・C

家元
華道家



L 松尾 隆正
(S. 49年 5月 7日生)

京都L・C

株式会社 岩倉ゴルフクラブ
専務取締役
ゴルフ練習場



L 高桑いく子
(S. 28年11月 9日生)

京都桂L・C

社交ダンス スタジオワン
代表
ダンス指導



L 内藤 康延
(S. 22年11月19日生)

京都桂L・C

真和ハウス(株)
営業部長
不動産・建築業



L 中野 貴匡
(S. 48年 1月22日生)

京都鴨川L・C

中野家六角
代表
飲食店



L 田中 鮎子
(S. 20年10月23日生)

京都鴨川L・C

主婦



L 俵本 邦江
(S. 18年 3月24日生)

京都鴨川L・C

ペンションびわ湖倶楽部
オーナー
料理研究家



L 島田 英嗣
(S. 38年10月24日生)

京都東L・C

株式会社 元禄豊
代表取締役
豊製造販売



L 馬場 隆代
(S. 31年10月12日生)

京都チェリーL・C

(有)永旦栄



L 一木 光範
(S. 26年11月 5日生)

京都ときわL・C

京都ブライトンホテル 株式会社
取締役執行役員 副総支配人
サービス業



L 和田 光正
(S. 15年 5月 7日生)

京都天神川L・C

光映工芸(株)
代表取締役
金彩友禅



L 服部 順一
(S. 32年 4月24日生)

京都桂L・C

紀元公業(株)
代表取締役
建築資材卸



L 村田 章代
(S. 36年 6月 6日生)

京都橘L・C

株式会社 山三製材所
代表取締役社長
不動産賃貸・木材の製材・建築請負



L 谷口 薫
(S. 34年 5月26日生)

京都橘L・C

ランチェスタービジネス京都 有限会社
代表取締役
経営コンサルタント業



L 生嵐 宏盛
(S. 51年 1月24日生)

京都東L・C

大將軍八神社
宮司
神職



L 佐々木智一
(S. 47年 1月24日生)

京都東L・C

佐々木化学薬品 株式会社
代表取締役
化学薬品製造販売



L 井上 昇
(S. 43年 5月15日生)

京都東L・C

エスネット 株式会社
代表取締役
料理業



L川村 晃
(S. 43年 9月23日生)

京都ロイヤルL・C

株式会社 アキラ
代表取締役
中古マンション売買仲介業



L米内 政明
(S. 35年 3月11日生)

京都ロイヤルL・C

株式会社 ちきりや茶店
代表取締役社長
茶製造卸売業



L細川 輝子
(S. 6年 8月22日生)

京都葵L・C



L鈴木 豊
(S. 29年 1月25日生)

京都洛北L・C

鈴木興業 株式会社
代表取締役
塗装・防水工事業



L小林 由香
(S. 39年 6月 4日生)

京都橘L・C

小林税理士事務所
所長
税務・会計



L松井 勝正
(S. 37年 6月20日生)

京都嵐山L・C

(有)メイク
取締役
電気設備工事



L高田 茂
(S. 32年 3月 7日生)

京都嵐山L・C

(有)しげしん工業
代表取締役
建設業



L大村 知史
(S. 30年 9月21日生)

京都乙訓L・C

インテリア オオムラ
代表者
内装工事仕上業



L林 哲也
(S. 51年 8月14日生)

京都パレスL・C

株式会社 加沙
代表取締役
旅館業



L西村 勝彦
(S. 39年 4月14日生)

京都パレスL・C

株式会社 セイショウ
代表取締役
梱包・発送代行・アッセンブリ・内職



L呉山 和男
(S. 33年11月 1日生)

京都洛東L・C

株式会社 アスク・ネットワーク・ジャパン
代表取締役
地盤調査・地盤改良・ボーリング調査・土壌汚染調査



L宇野 賢志
(S. 29年 6月16日生)

京都洛東L・C

(有)宇野エクスプレス
代表取締役
一般区域運送事業



L小森 達男
(S. 25年 4月17日生)

京都洛東L・C

株式会社 小森
代表取締役
製造業



L高田 毅
(S. 52年 8月 1日生)

京都桃山L・C

(有)ポディーショップ ツーワン
代表取締役
自動車塗装業



L坂 和純
(S. 43年 2月16日生)

京都嵐山L・C

(株)坂 左官工業所
専務取締役
左官業



L岡本 理弘
(S. 14年12月22日生)

京都淀L・C

株式会社 オーディーエス
代表取締役
トラックボディー製作・修理業



L森田 喜久
(S. 26年10月 8日生)

山城L・C

木津運送(株)
顧問
運送業



L長井 康裕
(S. 40年12月11日生)

京都伏見L・C

ゆば長 株式会社
代表取締役
ゆば製造・卸・小売販売



L家形 正樹
(S. 42年 3月19日生)

京都洛東L・C

Saloon bar BLUEFISH AQUARIUM
代表
飲食業



L金森 勉
(S. 38年 3月 4日生)

京都洛東L・C

株式会社 ヴィ企画
代表取締役
人材サービス・介護



L奥村 幸子
(S. 46年 2月16日生)

京都淀L・C

(有)プチマダム
取締役
飲食業



L西村 好
(S. 33年11月 5日生)

京都淀L・C

久御山企業
代表者
貸倉庫業・自販機サービス業



L浦井 秀男
(S. 29年12月 9日生)

京都淀L・C

日新工業(株)
代表取締役
管工事業



L内藤恵美子
(S. 25年 4月11日生)

京都淀L・C

(有)内藤トランスポート
取締役
運送業



L小野 靖
(S. 16年 4月 3日生)

京都淀L・C

メタリ(株)
取締役社長
非鉄金属加工業



2010
11



L新井 勇
(S. 31年 4月27日生)
京都王仁L・C
株式会社 伸高建設
代表取締役
建設業



(朴 義淳)
L新井 義淳
(S. 25年 2月 5日生)
京都王仁L・C
(株)晃商 代表取締役社長
サービス業



L中谷 清徳
(S. 48年12月17日生)
京都市南L・C
株式会社 ベストプランニングシステム
代表取締役社長
リサイクル・産業廃棄物処分業



L堀井 真也
(S. 44年 9月25日生)
京都市南L・C
株式会社 栄真
代表取締役
舗装業・産廃収集運搬業



L田中 龍秀
(S. 33年 9月 4日生)
京都市南L・C
株式会社 田中工業
代表取締役
建設資材運搬業



L菅井 智子
(S. 40年 6月29日生)
大津L・C
すがいともこ事務所
行政書士



L入鹿山且憲
(S. 46年 2月 9日生)
亀岡保津川L・C
明治安田生命(相)京都支社・亀岡営業所
所長
保険業



L村山 清司
(S. 42年 7月11日生)
園部L・C
ポプラ園部店
オーナー
紳士服小売販売




L石井 英明
(S. 51年11月29日生)
京都王仁L・C
(株)石川建設
代表取締役
舗装工事



L山口 丈仁
(S. 45年 8月 6日生)
京都王仁L・C
(株)アートライナー
代表取締役
区画線工



L前田 義和
(S. 38年 5月 1日生)
大津びわこL・C
株式会社 琵琶湖ホテル
取締役 副総支配人
ホテル業



L杉本 正則
(S. 19年 1月13日生)
大津びわこL・C
(有)滋賀オレンジ便
代表取締役
運送業



L河原田 肇
(S. 33年 2月12日生)
高島L・C
滋賀銀行 今津支店
支店長
金融業



L角川 正将
(S. 29年 3月10日生)
高島L・C
石田食品(株)
総務課長
食品加工製造業



L岩佐 俊一
(S. 13年10月 3日生)
高島L・C
イワサ衣料品店
店主
衣料品小売業



L島本 光久
(S. 42年 6月 6日生)
水口L・C
島本微生物工業 株式会社
代表取締役社長
健康食品及び農畜産用微生物資材製造業



L小西 美保
(S. 44年 2月14日生)
近江守山L・C
小西表具店
表具



L阿津川正憲
(S. 28年 9月21日生)
草津L・C
関西アーバン銀行 草津支店
支店長
金融業



L二反田秀子
(S. 43年 5月 6日生)
瀬田L・C
税理士法人 りたっくす
代表
税理士業



L平岡 勝
(S. 40年 1月10日生)
瀬田L・C
(株)平岡組
代表取締役
総合解体業



L北川 浩
(S. 43年12月20日生)
彦根みずほL・C
(有)キタセイ
代表取締役
一般廃棄物処理業




L西川 喜章
(S. 43年 6月19日生)
彦根みずほL・C
西川総合保険
代表
保険代理店



L上田 守
(S. 38年 8月 3日生)
彦根みずほL・C
魚啓水産
代表
鮎養殖業



L畑中 利一
(S. 24年 7月 3日生)
野洲L・C
滋賀県共済協同組合
専務理事
共済事業



L藤澤 正幸
(S. 42年 7月23日生)
水口L・C
株式会社 フジサワ建設
代表取締役社長
建設業




L 澤村 清秀
(S. 32年 5月 2日生)

天理L・C

南都銀行 天理支店
支店長
金融業



L 山口 仁志
(S. 32年 6月30日生)

奈良L・C

(株)近鉄百貨店
外商本部長
百貨店 (小売業)



L 若林 吉彦
(S. 50年12月20日生)

彦根みずほL・C

司法書士 若林吉彦事務所
所長
司法書士



L 久保田弘信
(S. 47年 3月13日生)

彦根みずほL・C

ケイシン(株)
代表取締役
製造業



L 西川 篤志
(S. 46年 4月13日生)

彦根みずほL・C

(有)オフィスアズ
代表取締役
自動車販売業



L 植村 敦
(S. 49年 8月 1日生)

田原本L・C

植村工務店
副代表
建設業



L 松浪 雄二
(S. 33年 3月21日生)

北葛城L・C

(株)南都銀行 新庄支店
支店長
金融業



L 梅田 亘
(S. 42年12月 9日生)

橿原L・C

近鉄旅館システムズ 橿原観光ホテル
支配人
ホテル業



L 中川 英幸
(S. 28年10月 1日生)

奈良セントラルL・C

大和シティ開発 株式会社
代表取締役
不動産業



L 堀 貴至
(S. 39年12月13日生)

天理L・C

堀土地家屋調査士事務所
所長
土地家屋調査士

ご冥福をお祈り申し上げます



故 L 福永清之輔
京都北 LC
没 平成22年 7月16日
享年89才

ライオン歴

第22代クラブ会長



故 L 酒井 清
野洲 LC
没 平成22年 7月 2日
享年86才

ライオン歴

1989~1990 会長
1995~1996 地区 PR 副委員長
2000~2001 6R2Z ゾーンチェアパーソン



故 L 安井洋太郎
京都乙訓 LC
没 平成22年 6月23日
享年89才

ライオン歴

1963年 チャーターメンバー
1973年 会長
1981年 2R3Z ゾーンチェアマン



故 L 西村 弘
京都鴨川 LC
没 平成22年 3月13日
享年87才

ライオン歴

1988年 ライオンテーマー
1993年 会計
1997年 第二副会長



故 L 伊藤 武司
奈良西 LC
没 平成22年 9月10日
享年84才

ライオン歴

1967年 3月15日 入会
1986年度 会長
1987年度 地区献血副委員長
1988年度 地区献血委員長
1990年度 複合地区国際大会委員



故 L 大林 英雄
京都鴨川 LC
没 平成22年 9月10日
享年59才

ライオン歴



故 L 辻 福夫
草津 LC
没 平成22年 8月28日
享年74才

ライオン歴

1984年 入会
1992年 幹事
1999年 会長
2003年 会員理事
2004年 会計監査
2006年 CN45周年実行委員長

2R 合同アイバンクキャンペーン

2010年10月3日（日）に、ライオンズクラブ国際協会335-C地区2R合同アイバンクキャンペーンパレード（2R1Zゾーン・チェアパーソンL森重雅彦、2R2Zゾーン・チェアパーソンL福岡聖三、2R3Zゾーン・チェアパーソンL大谷 収）を行いました。2R内16クラブが合同で、毎年開催しているもので、当日は雨天にも関わらず、多くの参加者が集まり、河原町御池～四条烏丸までの区間で、献眼登録の呼びかけを行いました。



パレードスタート地点である京都市役所前に整列し、ライオンズクラブ国際協会335-C地区 地区ガバナーL奥村啓二からご挨拶があり、地区役員をはじめとするライオンズメンバー約160名、京都明德高等学校吹奏楽部40名が参加するパレードとなりました。



左から
2R2Zゾーン・チェアパーソンL 福岡聖三
2R1Zゾーン・チェアパーソンL 森重雅彦
アイバンク愛の光基金 理事長 則武清司様



京都明德高校吹奏楽部の皆さん



ライオンズクラブ国際協会335-C地区
地区ガバナーL 奥村啓二

パレードの様子



小雨が降る中、多くの沿道の方々へ献眼登録の呼びかけを行い、警察の協力のもと、パレードは進みました。

ゴール地点である、池坊短期大学まで約200名が元気に行進いたしました。



ご参加いただいた皆さん、
本当に
ありがとうございました。

2R1Zゾーン・チェアパーソン
森重 雅彦



審査結果報告

2010～2011年度 ライオンズクラブ国際協会335-C地区 第23回国際平和ポスターコンテスト テーマ『Vision of Peace』 (訳：平和へのビジョン)

ライオンズクラブ国際協会は、子供たちに少しでも世界平和について考えてもらおうとの趣旨で、全世界のライオンズクラブを通じて国際平和ポスターコンテストを実施しています。

今年で第23回目を迎え、335-C地区においても10月29日に審査会が行われました。

地区内の児童が描いた同ポスター467枚（応募総数は17,216枚）から入



賞者が別紙の通り選ばれました。

ガバナー賞に選ばれた3点及び第1副地区ガバナー賞1点、第2副地区ガバナー賞1点はこの後、335複合地区審査に臨み、さらに選ばれれば、国際協会へと進むこととなります。

複合地区での結果は12月に、国際協会の結果は来年2月中旬に発表できる予定です。

ざっくばらん

雑句馬乱

奉仕と慈善の違い

最近、退職した会社の集いがあり、小生の胸のマークをみて「ライオンズクラブとは、どんなクラブなんですか？」との質問を受けました。

「1917年にアメリカに生まれた国際的な奉仕団体で、地域に密着していろいろな奉仕を行っているクラブです。」と答えたが、少し抽象的になりすぎよく理解をされなかったのでしょうか、質問が返ってこなかった経験をよくします。

同じボランティア団体でも、赤十字運動については、部外の人でも部内の人でも、同じように解釈し、理解してくれると思いますが、ライオンズクラブについては、会員と会員でない人との理解の仕方にかなりの隔たりがあります。

ライオンズクラブは、よく世間から慈善団体とみなされることがありますが、それは誤解でして、本来は奉仕団体なのです。もともと、アメリカに誕生したいきさつを知れば解るとおり、金銭的に裕福な人達が集まって始めたものではありません。これまで一般に慈善といえば、貧しい人や不幸な人を哀れんで、金銭にゆとりのある人たちが援助を与えるという、いわばお恵みや施しを指すのが普通で、社会階層の隔たりから生まれた行為といえましょう。もちろん、その社会的貢献は高く評価されるべきですが、そうした慈善が行えるのはごく一部のの人たちに限られてしまいますし、またその性格上、反発を感

じる向きも少なくありません。

ライオンズが共通の目的として行っているのは、慈善ではなく“奉仕”です。つまり、我々ライオンには皆が自覚しているとおり、金と暇を持て余している者など一人もおられません。それぞれに、仕事と生活に懸命な努力をしている人ばかりです。そうした中から、たとえわずかでも、ムダを省き、各自の金と時間と労力を割いて、助けを必要としている人々に手を差し延べ、住みよい地域社会づくりに精進する努力が、ライオンズの目指す“奉仕”というべきものです。ライオンズのアクティビティが各種の福祉公共機関などへ金品の援助をするだけにとどまらず、メンバー自らが額に汗して、さまざまな労力奉仕に励むのもそのためです。

我々が目指すのは、恵まれない人たちに一時的な喜びを与えるだけではなく、その人の人生を変え、自らの力で永遠と続く人生の喜びや感動を獲得できる人を誕生させることではないでしょうか？

奉仕は、それによる地位や名誉をほしがりませんし、驕りもあってはなりません。たとえ、メンバー一人ひとりの力は小さくても、それがクラブに結集できれば、大きな社会貢献を果たすことができます。

人間誰しも、自分は頼りにされる存在であることに生き甲斐を感じます。仕事でも家庭でも、そう願うはずです。ライオンズクラブでの奉仕は、平凡な私ども一市民にも、社会的な生き甲斐を与えてくれるものと確信してやみません。

—京都L.C. K.M—

Lions Times

ザ・ライオンタイムズ（335-C地区機関紙）

発行日◆2010年11月20日

発行者◆ガバナー 奥村 啓二

発行◆ライオンズクラブ国際協会335-C地区PR・情報委員会

編集者◆PR・情報委員長 森井 士朗(京都洛東LC)

事務局◆〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路

リーガロイヤルホテル京都3F 364号室

TEL.(075)344-0258

FAX.(075)344-0277

◆インターネットホームページ <http://www.335c.com/> ◆Eメールアドレス lions@skyblue.ocn.ne.jp

編集後記

今年度も第2号の発刊にあたりPR委員会も多忙を極め、よりよい「Lions Times」を目指してがんばっているところございませぬ。又地区の委員会や各クラブさまからの情報を出来る限り多く記載して、各メンバーの皆様リアルタイムで335-C地区の情報を提供したいと思っていますので御協力の程よろしくお願い致します。

PR・情報副委員長 佐竹 不二郎

PR・情報副委員長 柄本 正晴(京都西の丘LC) 佐竹不二郎(京都醍醐LC)

木下 和美(綾部LC) 出路 敏秀(能登川LC)

吉村 完治(香芝LC)

担当運営副委員長 岸田 佳和(京都淀LC)